

施工計画書作成の手引

(建築工事編)

令和8年3月

犬山市 都市計画課

目 次	ページ
1. 施工計画書作成及び本手引きの目的	1
2. 施工計画書作成の注意点等	1
3. 総合施工計画書	3
① 表紙	4
② 目次	5
③ 工事概要	6
④ 工程管理(計画工程表(実施工程表、月間、週間等)の作成)	7
⑤ 現場組織表	8
⑥ 安全管理	10
⑦ 緊急時の体制及び対応	16
⑧ 災害、公害の防止	18
⑨ 品質計画	18
⑩ 養生計画	22
⑪ 官公庁等への手続き	22
⑫ 着手前調査	22
⑬ 総合仮設計画	23
⑭ 環境対策	23
⑮ 建設廃棄物処理計画	24
⑯ その他	26
4. 工種別施工計画書	27
1仮設工事	28
2土工事:根切り及び埋戻し、山留め	29
3地業工事:既製コンクリート杭、場所打ちコンクリート杭、砂利・砂・捨コンクリート地業等	30
4鉄筋工事:鉄筋、ガス圧接	33
5コンクリート工事:コンクリート、型枠	34
6鉄骨工事:鉄骨(工場製作、現場施工)、工作図	36
7コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事:補強CB・CB、ALCパネル、押出成形セメント板	37
8防水工事:アスファルト防水、改質アスファルトシート防水、合成高分子ルーフィングシート防水、塗膜防水、シーリング	39
9タイル工事【別添1】作成例	42
10木工事	43
11屋根及びとい工事:長尺金属板葺、折板葺、とい	44
12金属工事:軽量鉄骨下地、金属成形板張り、アルミニウム製笠木、手すり・タラップ	45

13左官工事:モルタル・セルフレベリング材・せっこうプラスター塗及びロックウール吹付け、床コンクリート直均し仕上げ、仕上塗材仕上げ	48
14建具工事:アルミニウム製建具・鋼製建具・鋼製軽量建具・ステンレス製建具、木製建具、自動ドア開閉装置、自閉式上吊り引戸装置、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス	50
15塗装工事	55
16内装工事:ビニル床シート・ビニル床タイル・ゴム床タイル張り、カーペット敷き、合成樹脂塗り床、フローリング張り、畳敷き、せっこうボード・その他ボード・合板張り、壁紙張り、断熱・防露	55
17ユニット及びその他工事:ユニット工事・PC工事・間知石・コンクリート間知ブロック積み	60
18排水工事	61
19舗装工事(アスファルト系舗装・コンクリート舗装・ブロック系舗装)	61
20植栽工事	62
21各種メーカー仕様工事	62
22改修工事:防水改修、外壁改修、建具改修、内装改修、塗装改修、耐震改修、あと施工アンカー	63
23解体・除却工事	67
24電気設備工事:電力設備(配管・配線、架空配線、地中配線)、電力設備(接地)、電力設備(電灯、動力、電熱、雷保護)、受変電設備、電力貯蔵設備、発電設備、通信・情報設備、中央監視制御設備	68
25機械設備工事:配管、保温、塗装及び防錆、空気調和設備、自動制御設備、給排水衛生設備、ガス設備、浄化槽設置、機器取付	74

1. 施工計画書作成及び本手引の目的

施工計画書は、受注者がそれぞれの工事において、現場の特色を加味した上で実際に施工することを具体的に文書にしたものです。どの工事にも共通で利用できるような内容とならないよう、本手引を参考に施工計画や品質計画について、十分検討した上で作成してください。

受注者は、施工計画書の中で、工事の基本要求品質を満たすための品質管理方法や出来形管理の管理基準等を示した品質計画を作成し、監理者及び監督職員の承諾を受ける必要があります。

2. 施工計画書作成の注意点等

※下請け業者から提出された、施工要領書をそのまま施工計画書として提出することは厳禁です。

※工事毎に、個別具体的に検討してください。

※原則、工種別施工計画書は総合施工計画書と別冊とするが、小規模工事等で工種が少ない場合は総合施工計画書に含めてもよいものとします。

※工種別施工計画書を作成及び省略する工種を、総合施工計画書の品質計画の中で記述し、監督職員(監理者)の承諾を受けてください。

※工種別施工計画書には、設計図書を基に愛知県建築工事品質管理要領(施工編)別表1の「管理要点」に関する具体的な「性能、精度等の目標」を記述してください。

※追加工事や施工方法等の変更により施工計画書に変更が生じた場合は、変更施工計画書を提出してください。

※当該工事に直接関係がない項目については記載しないでください。

※本手引と併せて愛知県建設局作成の施工計画書作成の手引(建築工事編)を参考にしてください。

(1)作成時に検討する基本事項

- ①工事の目的、内容、契約条件等の把握
- ②現場条件(地形、気象、道路状況、近接状況、環境、制約条件等)
- ③全体工程(基本工程)
- ④施工方法(施工順序、使用機械等)
- ⑤仮設備の選択及び配置

(2)作成の要点

施工計画作成は上記基本事項を十分調査・検討・把握し、施工性・経済性・安全性との関連を繰り返し検討しながら、最適な施工体制を決定することが重要です。また、公共工事には、生産性の向上※1・環境保全※2といった社会的要求があり、これを認識した上で、自主性、創意性を欠くことの無いよう幅広い検討を行うことも重要です。

※1 生産性の向上に関する検討項目

合理的な分割施工、仮設の独自性、作業の規格化・標準化、新技術・新工法の採用、施工の機械化など

※2 環境保全に関する検討項目

環境の観点からの資材や機械の選別、地域社会への貢献、廃棄物の減量化・適正処理、エネルギー利用の効率化、社員の意識改革など

(3)作成のタイミング

- ・総合施工計画書…現場着工前(準備工期間中)
- ・工種別施工計画…各工種の現場着工前

- ※ 監理者及び監督職員の承諾を受ける前に、現場着工を行わないでください。
- ※ 各工種ごとに施工プロセスチェックリストにより承諾の日付を確認できるようにしてください。

3. 総合施工計画書

施工計画書は、図面・仕様書等に定められた工事目的物を完成するために必要な手順や方法及び施工中の管理をどのように行うのかなどを定めるものであり、工事の施工・施工管理の最も基本となるものです。

受注者が作成する施工計画書の標準的な記載内容例及び作成方法を以下に示します。

記載事項	内容
工事概要	工事名、工事場所、工期、請負代金額、契約年月日、発注者名、工事監理者名、請負者名、工事内容
実施工程表	ネットワーク、バーチャート等で作成、工程管理計画、施工計画書・施工図承認計画、使用材料計画
現場組織図	現場組織、編成、命令系統、業務分担
施工体系図	施工体制台帳に添付する内訳内容で作成
品質計画	品質目標、品質管理方針、重要管理項目、工種別施工計画書作成要領、検査立会項目、写真管理計画等
養生計画	既存部分及び施工済み部分等の養生計画
緊急時の体制及び対応	事故発生時の連絡系統図・業務分担、事故報告、異常気象等の防災対策
安全対策	安全管理目標、安全管理方針、安全管理体制(安全管理組織表・作業主任者一覧表、有資格者一覧表)、安全対策(重要管理項目・安全管理活動・工事関係者連絡会議)
環境対策	騒音・振動・粉塵・水質汚濁・臭気・大気汚染・土壌汚染・地盤沈下対策等
仮設計画	仮設建物の大きさや配置、資材置場・資材搬入ルート、危険物置場、仮囲い等計画、仮設電気・仮設給排水等の引込等、揚重機等の配置計画、足場計画
建設廃棄物処理計画	建設廃棄物処理フロー図(収集・運搬業者、処分業者)、マニフェスト使用の徹底、社内の管理体制
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・着手前調査(近隣建物、工作物の状況、既存施設、通行経路、障害物、文化財、埋蔵物、境界の確認、搬入道路の状況等)の実施 ・提案や創意工夫として取り組む項目と内容 ・関係機関との協議先一覧(警察署、労働基準監督署、道路管理者等) ・契約図書及び監督職員の指示で、施工計画書に記載を必要とするもの

① 表紙

施工計画書の用紙の大きさは、A4サイズ縦書きまたは横書きを原則とします。

作成例

〇〇〇工事
総合施工計画書

〇年〇月〇日

(株)〇〇建設
主任技術者 〇〇 〇〇
現場代理人 〇〇 〇〇

② 目次

本手引で例にあげる記載事項のほか、工事の内容に応じて、項目を追加、細分化します。

作成例

目次

1. 工事概要	…○
2. 工程管理	…○
3. 現場組織表	…○
4. 安全管理	…○
5. 緊急時の体制及び対応	…○
6. 災害、公害の防止	…○
7. 品質計画	…○
8. 官公庁等への手続き	…○
9. 着手前調査	…○
10. その他	…○
11. 総合仮設計画	…○
12. . . .	…○

③ 工事概要

工事名、工事場所、発注者、設計者、工事監理者、受注者、工期、工事概要等を設計図書を参考に記載します。

作成例

工事名	〇〇工事
工事場所	犬山市大字〇〇字〇〇地内
請負金額	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
契約年月日	〇〇〇年〇月〇日
工期	〇〇〇年〇月〇日～〇〇〇年〇月〇日
発注者	犬山市〇〇〇〇部〇〇〇課
設計者	〇〇設計事務所
工事監理者	〇〇設計事務所 〇〇 〇〇
受注者	(株)〇〇建設 所在地 〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
建物名称	〇〇庁舎
工事種別	改修
工事概要	RC 造〇階建て延べ面積〇〇㎡庁舎の屋上防水改修工事

④ 工程管理(計画工程表(実施工程表、月間、週間等)の作成)

契約工期に基づき、バーチャート、ネットワーク式工程表など工事内容に適した工程表とし、次の内容を反映します。各工種において、作業の始めと終わりがわかるようにします。別契約工事の工程把握と調整が必要な場合、内容を分かりやすく記載します。

- 1 工程の順序
- 2 電気、機械及びその他の工事工程の把握と調整
- 3 仮設準備期間
- 4 施工図、製作図作成の時期及び見本製作の期間
- 5 製作所決定の時期及び製作期間並びに搬入時期
- 6 施工の時期及び取合い部分完了の時期
- 7 養生期間
- 8 各工種工程との関連、試験の時期及び期間、検査及び立会い時期
- 9 施設管理者の行事、工事に影響のある工事外の行事
- 10 中間検査、完成検査、施工パトロール等の行事予定
- 11 フォローアップの方法、工程変更の目安等、作業時間、休日等

(1)工程管理要領(例)

①月間工程表について

全体工程表と別に月間工程表を作成し、詳細な各工種の工程を管理する。毎月5日までに監督職員へ提出する。

②週間工程表について

定期的に工事打合せを行う工事については週間工程表を打合せごとに提出する。週間工程表については、騒音や搬出入車両量などを記載し、施設管理者に報告する。

③進捗管理について

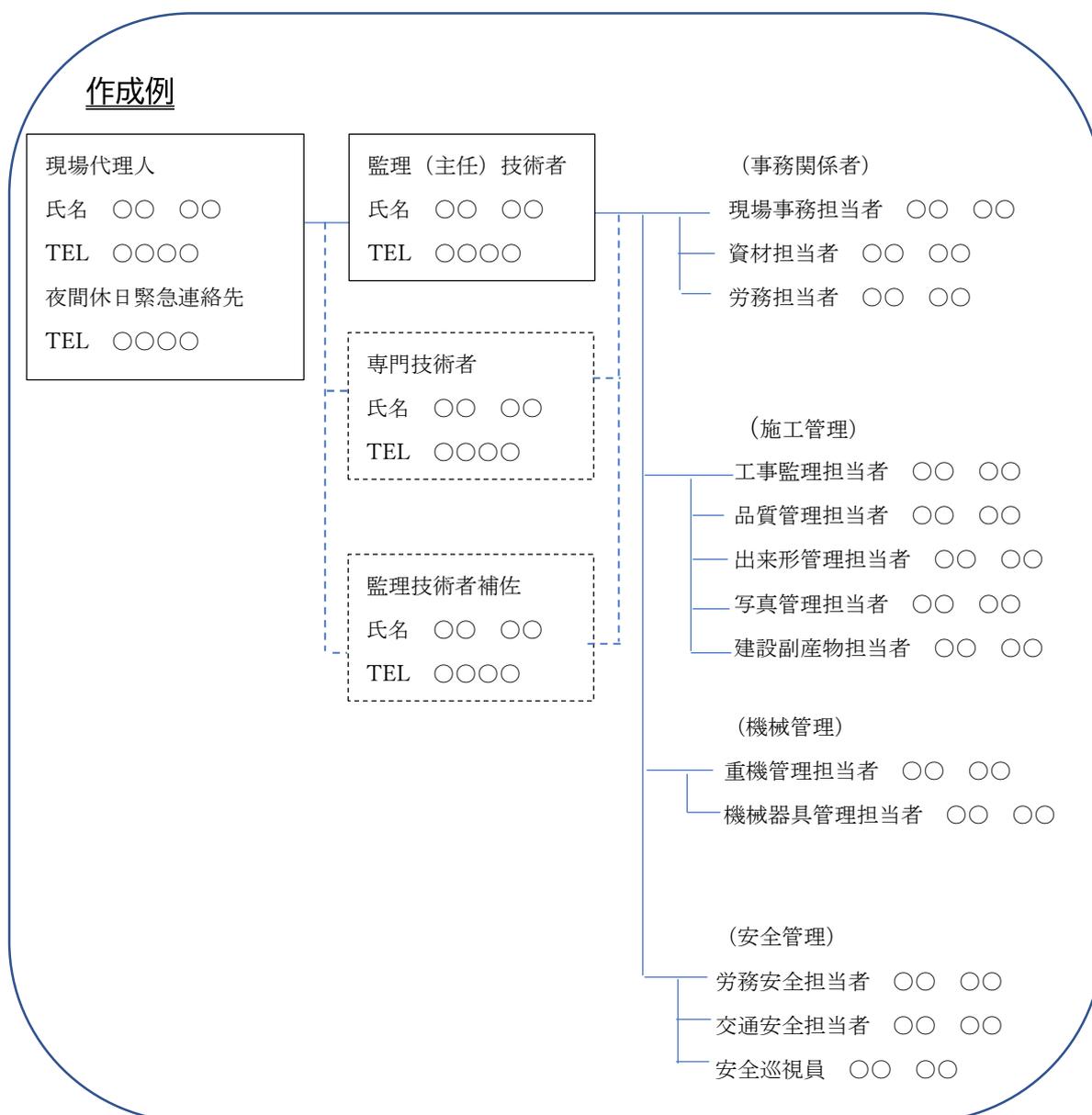
工事着手から毎月月末に工程の進捗を確認し、計画から10%の差が生じた場合は、フォローアップを実施し監督職員の承諾を受ける。

⑤ 現場組織表

(1) 現場組織表

現場代理人、監理技術者等(監理技術者が建設業法第 26 条第 3 項ただし書きの規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という。))として兼務することとなる場合は、監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を含む)の他、安全巡視員等の現場施工に必要な担当者を定め、現場組織表を作成します。

また、現場組織表は、現場における組織の編成及び命令系統ならびに業務分担が判るよう記載し、専門技術者を置く工事については、これを記載します。

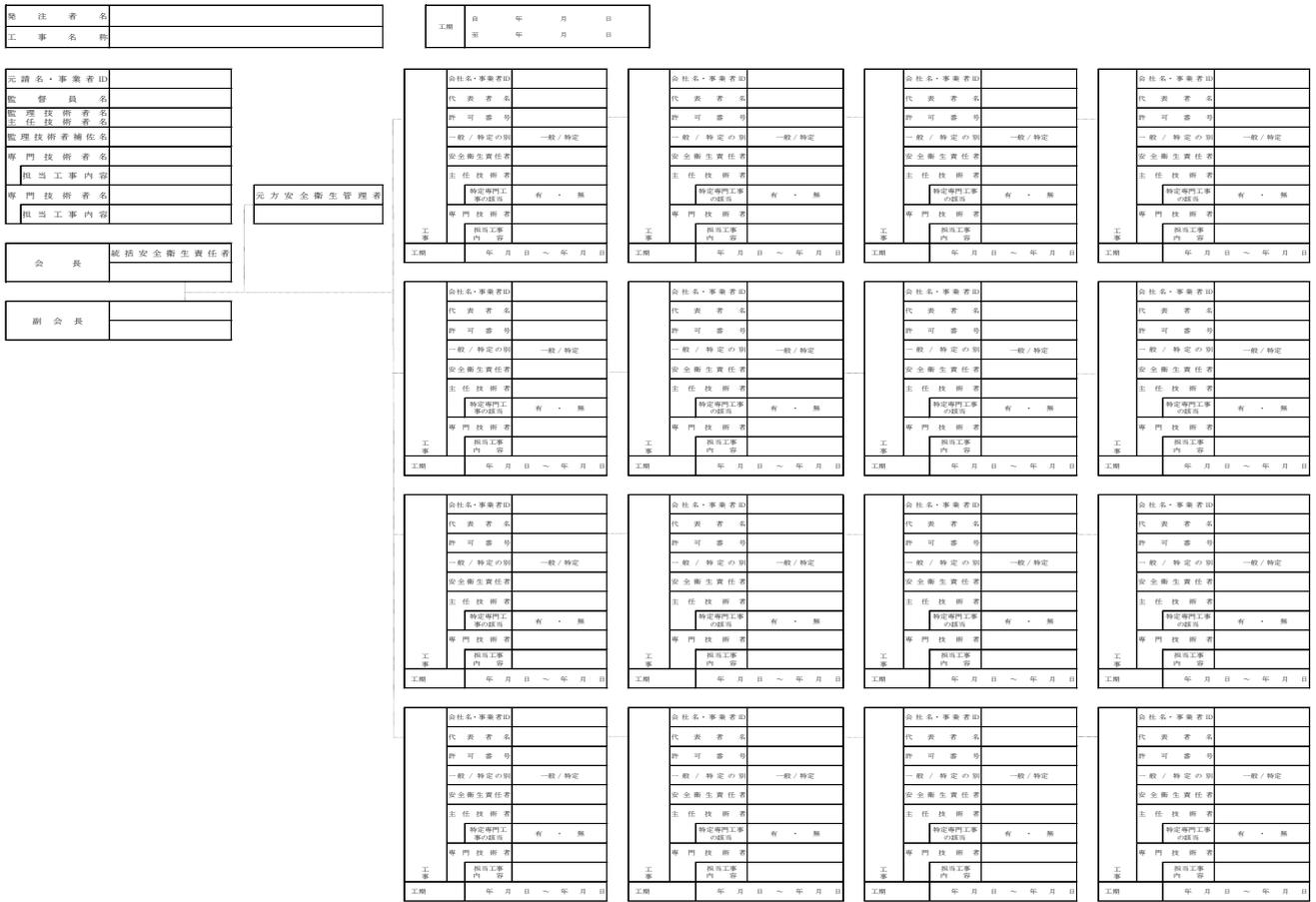


(2) 施工体系図

参考様式を参考に作成します。工事作業所災害防止協議会等、労働安全等他の目的で作成される図面と兼ね、交通誘導員や揚重作業等の建設業に該当しない業種について記載しても差し支えありません。1次、2次、3次下請けの関連がわかるように、業者間を実線で結びます。※総合施工計画作成時に決定又は内定している業者のみで構いません。

作成例

施工体系図(作成例)



⑥ 安全管理

安全管理に必要なそれぞれの責任者や組織、安全活動の方針、安全対策、事故発生時の措置(連絡方法等)及び安全訓練等の実施について、以下の事項を参考の上、記載します。

また、万が一の事故発生時における救急指定病院、関係機関及び被災者宅等への連絡方法を記載します。

なお、労働安全衛生法と安全管理のしくみ等については、国土交通省中部地方整備局企画部編集「安全サポートマニュアル」を参照してください。(同局のホームページで公表)

(1) 安全計画を検討する上で基本となる指針

- 1 建築基準法
- 2 労働安全衛生法
- 3 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)
- 4 建築工事安全施工技術指針

(2)安全管理計画の項目

1 安全衛生管理体制

安全な工事を進めるための、責任者・管理者・作業主任者等を選任し、労働者の安全と健康を確保するための責任体制を明確にします。

2 労働者の危険又は健康障害を防止するための対策

イ) 機械・器具・爆発物による危険防止

ロ) 掘削、伐採作業等から生ずる危険防止

ハ) 通路・床面・階段等の保全

ニ) 労働者の作業行動から生ずる災害を防止するための対策

ホ) 労働災害発生の急迫した危険があるときの処置

3 労働者の就業にあたっての対策

イ) 安全衛生教育の方法

ロ) 就業制限に関する処置

ハ) 中高年齢者等についての処置

4 第三者施設に対する安全対策

家屋・道路・河川・鉄道・ガス・水道・電気・電話・地下構造物等に近接して工事を行う場合の処置。

5 爆発及び火災防止対策

イ) 使用人等の喫煙・火気使用の処置

ロ) ガソリン・燃料等の可燃物を使用する場合の処置

ハ)危険物置場等を現地に設置する場合

- 6 工事車両・重機類の事故防止対策
- 7 足場・型枠支保工等仮設の安全対策
- 8 大雨・強風等の異常気象時の防災対策
- 9 工事現場が隣接し又は同一場所において別途工事が有る場合の対策
- 10 工事安全訓練の実施方法・頻度等
- 11 工事安全巡視の実施方法
- 12 交通安全対策

(3) 危険箇所の抽出、対策、点検方法

- 1 墜落・飛来・落下災害
- 2 交通管理(重機・車両災害の防止、車両の進入経路、資材の運搬経路、交通誘導員の配置計画)
- 3 第三者施設に対する安全対策(家屋、道路、水道、ガス、電気、電話、地下工作物等に近接して工事を行う場合の処置)
- 4 火災、電気災害等の防止

(4) 安全教育・安全訓練等を始めとした安全活動の計画

- 1 安全活動の実施内容、参加者、頻度等
- 2 安全教育・安全訓練等の具体的な計画を工事の内容に応じた次の事項
 - イ) 工事期間中の安全・訓練等実施全体計画
 - ロ) 全体計画には、下記項目の活動内容について具体的に記述します。
- 3 安全管理活動、訓練、会議等の実施内容
- 4 工程に合わせた適時の安全管理目
- 5 重点管理項目
- 6 現場内の業務内容及び工程の作業員等への周知方法
- 7 KY及び新規入場者教育の方法
- 8 場内整理整頓の実施

作成例

1 安全管理目標

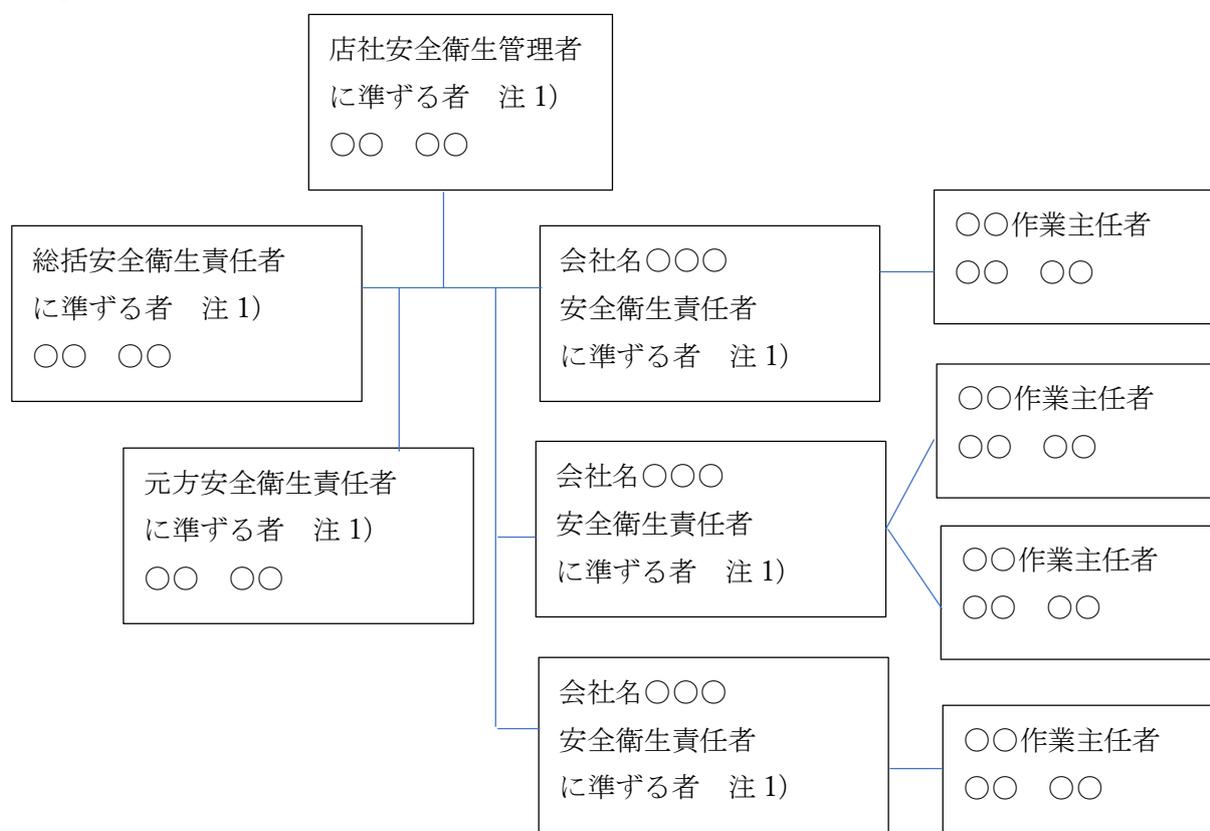
着工から完成引渡しまで無事故無災害で工事を遂行することを目標とする。

2 安全管理方針

- ①人命尊重最優先：人命確保は何においても優先する。
- ②安全体制の確立：安全施工サイクルの徹底による安全と施工の一体化
- ③安全で快適な作業環境の確立：日常の安全点検の徹底と危険の排除

3 安全管理体制

①安全管理組織表



注1)「に準ずる者」は、現場で作業する者が、常時10～49人の場合、配置する。詳しくは、「中規模建設現場における安全衛生管理指針」（平成5年3月31日付け基発第209号労働省労働基準局長中規模建設工事現場における安全衛生管理の充実について）による。

また、現場作業員が常時10人以上いない場合は、準ずる者注1)の選任は必要ないが、安全衛生に関する措置について作業員の多少は関係なく、常時10～49人の場合の体制に準ずることが望ましい。

②作業主任者一覧表 注2)

資格名	会社名	氏名	行う事項	資格交付番号
足場の組立等 作業主任者	株〇〇	〇〇 〇〇	足場の組立て等の作 業	〇〇〇〇〇
コンクリート造の工作物の 解体等作業主任者	〇〇建設	〇〇 〇〇	コンクリート造工作 物の解体作業	〇〇〇〇〇
ガス溶接作業主任者	〇〇建設	〇〇 〇〇	ガス溶接作業	〇〇〇〇〇
石綿作業主任者	未定	未定	石綿除去	未定

注2) 作業主任者一覧表には、労働安全衛生規則第18条の規定により、作業主任者の氏名及びその者に行わせる事項を記載する。作業主任者氏名が未定の場合は、別途工種別施工計画書に記載する。

③有資格者一覧表

資格名	氏名	会社名	取得年月日	交付番号
地山掘削	〇〇 〇〇	〇〇建設	〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇〇
玉掛け	〇〇 〇〇	〇〇建設	〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇〇
ガス圧接	〇〇 〇〇	〇〇建設	〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇〇
型枠支保工	未定	未定	未定	未定

・作業主任者や有資格者が未定の場合は「未定」と記入し、別途工種別施工計画書に記載する。

- ・作業主任者を選定した作業については、それぞれの主任者が当該作業の直接指揮を行う。
- ・選任した作業主任者は、現場入口に氏名・実施する項目等を掲示し、関係者に周知徹底する。7

4 安全対策

(1) 重点管理項目

当該工事の作業条件を考慮して以下の項目を重点管理項目とする。

①第三者災害の防止

- ・工事区域は、仮囲い・バリケード等を設置して工事看板等により明確に区画し、「関係者以外立ち入り禁止」の表示をする。
- ・工事車両の現場出入口には適宜交通整理員を配置して交通事故の撲滅に努める。
- ・運搬時間はAM9:00～PM4:00までとし、通勤・通学時間帯の運搬作業は原則行わない。
- ・施設管理者と週に1回程度工程打合せを行い、安全対策の確認を行う。

②墜落・落下事故の防止

- ・足場の点検を確実にを行い、結果を記録する。
- ・外部足場は手すり先行足場を原則とする。

- ・高所での作業は安全帯の使用を徹底する。
- ・脚立足場は3点支持とし、足場板をゴムバンド等で固定する。

③重機災害の防止

- ・重機の配置計画を前日の打合せで徹底し、かつ朝礼で作業員に周知する。
- ・重機の運転、取扱いは有資格者が行う。
- ・作業前点検を確実にを行い、結果を記録する。
- ・重機の旋回範囲内への立入禁止措置を徹底し、やむなく作業範囲内での作業が生じた場合は、作業指揮者を配置し、オペレーターとの合図を確実にを行う。
- ・重機を後進する場合は、誘導員の指示を受ける。
- ・荷重及びエンジンをかけたまま運転席を離れない。
- ・クレーンのアウトリガーの張り出しは、鉄板及び敷板等を設置して安全性を確保する。

④現場の整理整頓の励行

- ・作業員に対し、常に現場の整理整頓に留意して作業に望むように周知徹底する。
- ・毎日作業終了後に持ち場廻りの片付け及び作業場所廻りの整理整頓清掃を行う。

(2) 安全管理活動

- ・下記項目の安全活動を実施し記録する。

活動名	場所	参加者	頻度	内容等
朝礼	現場	現場作業従事者	毎日	当日の作業手順及び連絡、体操
KY 活動	現場	現場作業従事者	毎日	当日の危険予知及び安全作業に関する事項
作業前点検	事務所	現場作業従事者	毎日	重機、工具や足場、支保工の点検及び作業箇所の安全点検
安全巡視	現場	現場代理人	毎日	現場内及び周辺の監視及び点検
店社安全 パトロール	現場	店社担当職員	月1回	現場内及び周辺の点検及び指導
新規入場者教育	現場	新規入場者	随時	工事概要、担当作業内容、危険箇所等の説明及び指導
安全教育・ 安全訓練	事務所	現場作業従事者	月1回	
災害防止協議会	事務所	協議会構成員	月1回	
使用機械・ 車両等の点検	現場	現場作業従事者等	月1回	使用機械・車両等の点検及び整備

(3) 工事関係者連絡会議

当工事現場は、別途2件の工事（電気設備・機械設備）が発注されており、請負業者間の安全施工を確保するため連絡会議を設置する。

①月例会議

- ・毎月第〇〇曜日〇時から開催
- ・出席者：発注者、施設管理者、工事監理者、建築業者、電気設備業者、機械設備業者

②週例会議

- ・毎月第〇〇曜日〇時から開催
- ・出席者：施設管理者、建築業者、電気設備業者、機械設備業者

安全教育・訓練の予定計画表

月日	時間	場所	内容	詳細	講師	備考
〇月 〇日	13:00 ～17:00	現場 事務所 現場 周辺	①本工事内容等の周知徹底並びに予想される事故防止対策 ②災害防止対策予行演習	①作業内容→土留工（鋼矢板打設） 鋼矢板打設作業の予想される危険及び事故防止対策を参加者全員で検討し、安全作業に対する意識を高める。 ②雨で法面が崩壊した状況を想定 ・巡視経路の確認（実際の巡視の把握） ・連絡方法の確認（無線機・携帯電話の感度） ・立入禁止措置の実施方法の確認 ・問題点の整理・防災実施方法の確認	〇〇 〇〇 （現場代理人のみでなく、店社の人や専門工事業者の人を活用する）	
〇月 〇日	13:00 ～17:00	現場 事務所	①前月の反省と評価 ②工事進捗状況の説明 ③DVD 上映	①労務安全管理者の前月の作業行動に対する評価 ・評価に対する作業者の感想 ②主任技術者から進捗状況の説明及び今後の進捗予定の説明 ・今後の作業から予想される危険と対策の検討 ③危険予知活動紹介	〇〇 〇〇	

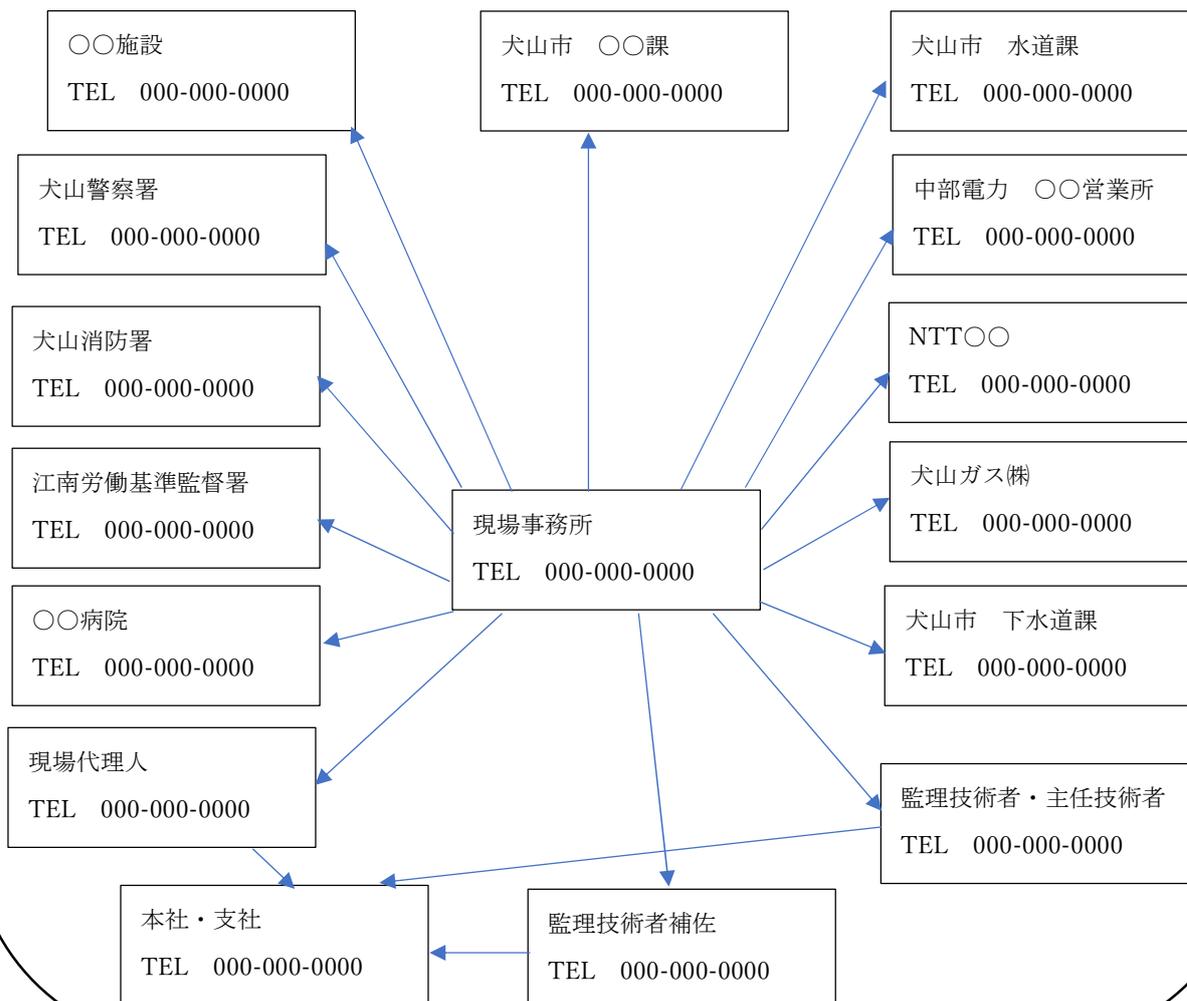
⑦ 緊急時の体制及び対応

- 1 大雨、強風等の異常気象時における作業現場の防災管理体制と災害発生時の対策
- 2 作業中の事故が発生した場合又はその恐れがある場合の対応・体制
- 3 受注者、発注者、関係者の連絡網の作成(休日・夜間を含める)
- 4 電力、水道、ガス、電話、消防署、労基署、警察署、道路管理者、救急病院などを記載した緊急時の連絡系統図の作成し、工事現場の見やすい場所に掲示
- 5 大地震、大津波等の自然災害時における現場作業従事者の安全対策(避難計画、避難場所等)

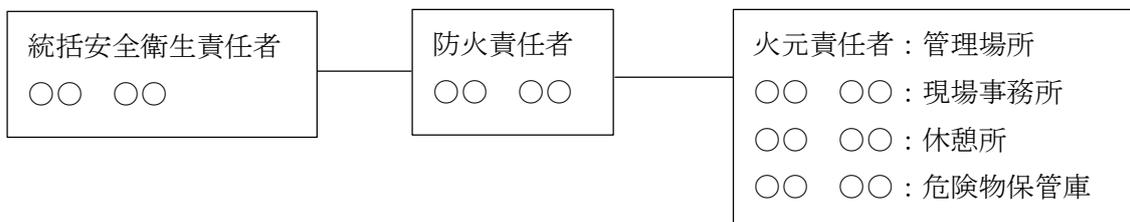
作成例

1 不慮の事故が発生した場合には、人命救助を最優先して対応し、定められた様式により早急に発注者へ報告する。

2 緊急時の体制連絡系統図



3 防火管理組織編制表



4 防災対策

- ① 台風や梅雨時期等の気象状況は常に入手し、緊急事態に対応できるようにする。
- ② 台風や大雨等により緊急事態の発生が予想される場合は、巡回点検を実施し、結果を監督職員に報告する。
- ③ 危険個所を発見した場合は、立入禁止等の防護処置を実施する。
- ④ 緊急事態に際し、巡視員等の危険防止及び円滑な連絡体制を確保するために、安全訓練で予行演習を実施する。
- ⑤ 長期休暇時には連絡体制及び巡回等の防災対策について、事前に監督職員に報告する。

⑧ 災害、公害の防止

災害及び公害を防止するための対策について、下記項目等について記載します。

- 1 火災等予想される災害防止対策(消火器、吸い殻入れ等)
- 2 搬出経路及び道路の汚染防止対策・破損防止対策(養生方法)
- 3 騒音・振動対策、飛散防止対策

⑨ 品質計画

(1)仕様書に定められた基本要品質を満たすために、下記項目等について記載します。

- 1 品質目標
- 2 品質管理方針
- 3 重要管理項目
- 4 工種別施工計画作成要領
- 5 検査立会項目
- 6 写真管理計画「工事写真の撮り方(建築編)国土交通省大臣官房官」参照

(2)重要管理事項は下記項目等を考慮して決定します。

- 1 設計意図の伝達や工事監理方針等において設計者や監督職員から指示があったもの
- 2 特殊材料や特殊工法を使用するもの
- 3 関連工事が多いもの
- 4 その他品質管理上重要と思われるもの
(将来瑕疵(不具合)がおきそうなもの)

作成例

1 品質目標

標準仕様書に定められた工種ごとの基本要品質を満たすことを目標とする。

2 品質管理方針

- ①品質目標を達成するための施工管理体制を確立する。
- ②品質管理、出来形管理及び写真管理方法について工種別施工計画書に記載し、品質のばらつきを防止する。
- ③工事の施工に携わる下請負人に、工程会議等で施工計画書の内容を周知徹底させる。
- ④設計図書の照査を早めに行い、問題点の早期解決を図る。

3 重点管理項目

主要工事の以下の項目について、重点管理する。なお、詳細については工種別施工計画書に記載する。

①不確定要素が大きい杭工事について、施工精度を高める。

- ・セメントミルク工法について杭心のずれや傾斜等について管理目標値を定め、確実に施工し、結果について施工報告書で報告する。

〔杭心のずれ±10mm以内〕

②外壁の一部が化粧コンクリート打放しのため躯体工事の出来形の精度を高める。

- ・型枠の建込み時の垂直及び水平精度について管理目標値を高め、確実に施工し、結果については、型枠解体後フロアごとに測定し施工報告書で報告する。

〔型枠建込み時の垂直精度 1/750 以内〕

〔型枠建込み時の水平精度 3mm/一辺以内〕

- ・クラック防止対策について誘発目地の増設等の創意工夫を提案する。

③竣工後に雨漏りがしない建物を目指し、躯体にて漏水させない。

- ・最上階のコンクリートの打設は、タンピングと木こて押さえ2回、金こて押さえ2回実施する。
- ・ドレン廻りにクラック防止の補強筋を入れる。なお、ドレン廻りにコンクリートが充填しているか、コンクリート打設直後に打設音にて確認する。
- ・設計図の納まりをよく検討し、シーリングに頼らない防水工法を提案する。

4 工種別施工計画書作成要領

①以下の工種別施工計画書を施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。

番号	工種	提出予定時期	提出日	承認日
1	杭工事	○月中旬	○月○日	○月○日
2	土工事	○月下旬		
3	鉄筋工事	○月上旬		
4	型枠工事	○月中旬		
5	コンクリート工事	○月下旬		
6	防水工事	○月上旬		
7	建具工事	○月中旬		
8	塗装工事	○月下旬		
9	内装工事	○月上旬		
10	外構工事	○月中旬		

②工種別施工計画書には、以下の項目を記載する。

- ・工種別工程表
- ・管理組織図
- ・主要資材
- ・施工管理計画（品質管理・出来形管理・写真管理）
※管理項目と管理基準を明確にする。
- ・施工方法（作業フロー、施工方法、使用機械等）
※可能な限り 5W1H で具体的に記載する。
- ・その他（特記すべき安全対策・環境対策・仮設計画）

5 検査立会項目

以下の項目及び監督職員の指示する項目について、監督職員の検査立会を受ける。なお、立会に当たっては、事前に連絡調整を行うと共に、社内検査結果を準備する。

種別	細別	検査時期	施工予定時期	備考
仮設	縄張り	縄張り終了時	○月○日～○月○日	
地業	杭工事	試験杭施工時	○月○日～○月○日	
躯体	鉄筋・型枠	コンクリート打設前	○月○日～○月○日	基礎
〃	〃	〃	○月○日～○月○日	土間
〃	〃	〃	○月○日～○月○日	2階スラブ
〃	〃	〃	○月○日～○月○日	屋上スラブ
仕上げ	防水工事	下地終了時	○月○日～○月○日	
〃	外壁工事	足場解体前	○月○日～○月○日	
完成	下検査	完成時	○月○日～○月○日	

6 写真管理計画

①総合撮影計画表

番号	撮影区分	撮影項目
1	着工前写真	全景、近隣
2	仮設工事写真	現場事務所、休憩室、仮囲い、看板
3	使用材料写真	使用品目ごと
4	施工状況写真	工事写真の撮り方による
5	品質管理写真	〃
6	出来形管理写真	〃
7	安全管理写真	次項による
8	建設廃棄物処理状況写真	保管、積込収集運搬、処分状況を種別ごとに撮影

9	完成写真	着工前と同一方向より撮影
10	工事進捗状況写真	月末に同位置より撮影
11	事故・災害写真	発生時

②安全管理写真計画表

番号	撮影項目	番号	撮影項目
1	各種標識類の設置状況	5	機械、器具点検状況
2	交通誘導員の配置状況	6	安全訓練等の実施状況
3	災害防止協議会の開催状況	7	安全パトロール
4	KY・TBM等の活動状況	8	その他の安全活動実施状況

【参考】中規模建設工事現場における安全衛生管理指針

1 趣旨

統括安全衛生責任者等の選任による統括安全衛生管理体制の整備が義務付けられていない中規模建設工事現場において、元方事業者の統括安全衛生管理が不十分なことによる労働災害が多発していることにかんがみ、中規模建設工事現場における統括安全衛生管理体制又は本店、支店、営業所等による建設工事現場に対する指導体制の確立を図り、中規模建設工事現場における安全衛生管理の充実を図ることを目的とする。

2 対象建設工事現場

おおむね、労働者数 10～49 人規模の建設工事現場(統括安全衛生責任者又は店社安全衛生管理者の選任が義務付けられている建設工事現場を除く。)

3 安全衛生管理体制の確立

(1) 統括安全衛生責任者に準ずる者及び元方安全衛生管理者に準ずる者又は店社安全衛生管理者に準ずる者の選任上記2の対象建設工事現場について元方事業者は、当該建設工事現場の状況に応じ建設工事現場単位での統括安全衛生責任者に準ずる者及び元方安全衛生管理者に準ずる者の選任又は当該現場を管轄する本店、支店、営業所等(以下「店社」という。)において店社安全衛生管理者に準ずる者の選任を行うものとする。

この場合、元方事業者が、統括安全衛生責任者に準ずる者及び元方安全衛生管理者に準ずる者を選任する場合においては、関係請負人は、安全衛生責任者に準ずる者を選任するものとする。

(以下略)

⑩ 養生計画

・既存部分及び施工済み部分等の養生計画について記載します。

作成例

1 材料搬入路

- ①仮設計画図に記載した材料等の搬入路について、砂利等を敷設して養生する。
- ②足場や建物の搬入口は、養生コーナーカバー等で養生する。

2 施工済み部分

- ①施工済みの壁・柱は養生コーナーカバー等で養生する。
- ②施工済みの床は養生ベニヤ等で養生する。

3 コンクリート打設後の養生

- ①コンクリートスラブ面より高い位置まで防炎シートにて覆いをする。
- ②気温25℃以上になる場合は、打設後5日間はスラブ上に散水し急激な乾燥を防ぐ。場合によっては保水シートを敷き詰める。
- ③気温2℃以下になる場合は、最上階にシートにて覆いをする。なお、気温0℃以下になる場合は、下部において練炭等で採暖する。

⑪ 官公庁等への手続き

騒音規制法、振動規制法 労働者災害補償保険法、労働安全衛生法、道路交通法、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律ほか、官公庁等への手続きが必要な事項及び協議先の一覧を作成します。

記入例

提出書類	関係機関	提出時期
足場設置届	江南労働基準監督署	○月○日頃
道路占用許可申請	犬山市 土木管理課	○月○日頃
道路使用許可申請	犬山警察署	○月○日頃

⑫ 着手前調査

近隣建物、工作物の状況、既存施設、通行経路、障害物、文化財、埋蔵物、境界の確認、搬入道路の状況(幅員・規制・条件など)等の着手前調査の実施について記載します。

※ 改修工事等の場合は、工事着手前の施設等の状況(破損状況)等を、施設管理者と共に確認しておくことが望ましい。

⑬ 総合仮設計画

仮設計画等について、下記項目等を記載し、仮設計画図を添付します。

- 1 工事区域周囲の仮囲い、ゲート
- 2 作業員・車両動線、工事関係者以外の動線確保
- 3 資材・機材の搬出入経路、荷捌きスペース、駐車スペース、材料置場、仮設事務所・作業員休憩所、危険物貯蔵所、下小屋、再資源化分別処理BOX等
- 4 仮設電力・水道の引込み位置及び排水経路等、揚重設備、保護養生
- 5 仮設足場(昇降足場、荷上げステージ等)
- 6 仮設予定期間

⑭ 環境対策

工事現場の生活環境の保全と円滑な工事施工を図る事を目的に、環境保全等関係法令・仕様書の規定を遵守の上、下記項目について対策を検討します。

- 1 騒音・振動対策
- 2 粉塵対策
- 3 水質汚濁対策
- 4 大気汚染対策(臭気対策を含む)
- 5 土壌汚染対策
- 6 地盤沈下対策
- 7 その他環境対策

作成例

1 騒音・振動対策

- (1) 特記仕様書で指定された重機は低騒音・低振動型建設機械を使用する。
- (2) 軟弱地盤なので周辺に深さ 1.5m程度の堀を設け、重機等の作業により振動が周辺地域に伝わらないようにする。
- (3) 重機の空ふかし、バケットの揺さぶり、ダンプトラックの急発進・急停車等による騒音・振動が無いように指導し徹底させる。
- (4) 現場が騒音・振動規制区域内にあるか確認し、特定建設作業に該当する場合は関係機関に届出する。また、敷地境界付近で規制値を超えないか測定し記録する。

2 粉塵対策

- (1) 現場内及び運搬経路等の防塵対策として、必要に応じて散水する。
- (2) 道路等を土砂等で汚した場合は、速やかに取り除き清掃する。

3 水質汚濁対策

- (1) 降雨時に汚濁水が直接流出しないように、釜場を設ける等の対策を講じる。
- (2) 基礎工事中はノッチタンクを設置して泥分を沈下させ上水を排水する。(場合によってはPH測定を行いPH6～PH8の管理基準内で排水する。)
- (3) 生コン車の洗浄は生コン会社に持ち帰り実施するように指導する。
- (4) 塗装の刷毛等の洗い水を現場で流さない。

4 大気・臭気汚染対策

- (1) 特記仕様書で指定された重機は排出ガス対策型建設機械を使用する。
- (2) 運搬車両(ダンプ等)はアイドリングストップを義務付ける。
- (3) 室内において、塗装の臭気が残らないよう十分に換気を行う。
- (4) アスファルト防水で釜を焚く場合は、臭いについて周辺住民に説明をすると共に消防署と協議し、必要な手続きを行う。

5 地盤沈下対策

- (1) 道路面の掘削作業は“すかし彫り”をせず簡易型山止めを行う。
- (2) 毎日の巡視で周辺の道路や敷地にクラックが発生していないか確認する。

6 その他環境対策

- (1) 工事着手前に付近住民に対し挨拶及び工事内容説明を行い、工事に対する理解と協力を求め、その結果を監督職員に報告する。
- (2) 周辺住民等からの苦情や意見等には丁寧に対応し、速やかに監督職員に報告する。
- (3) 地域住民等とのコミュニケーション向上のため、現場周辺の一斉清掃を月1回程度実施する。
- (4) 作業環境の改善のため、作業員の休憩所及びトイレを設置する。
- (5) 喫煙は指定場所(事務所・休憩所内)以外では禁止とする。

⑮ 建設廃棄物処理計画

再生資源利用の促進に関する法律に基づき、下記事項について計画します。

- 1 建設副産物の適正処理方法(マニフェスト使用の徹底)
- 2 工事着手前に建設廃棄物処理フロー図を作成します
- 3 社内の管理体制(建設副産物対策の責任者の明確化)
- 4 記載内容に変更があった場合は、その都度速やかに監督職員に報告します

※ 愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱第15条に基づき、工事着手前に次の計画書等を発注者に提出すること。また完了時にはそれぞれの計画書について実施数字に置き換えた実施書を提出すること。再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進

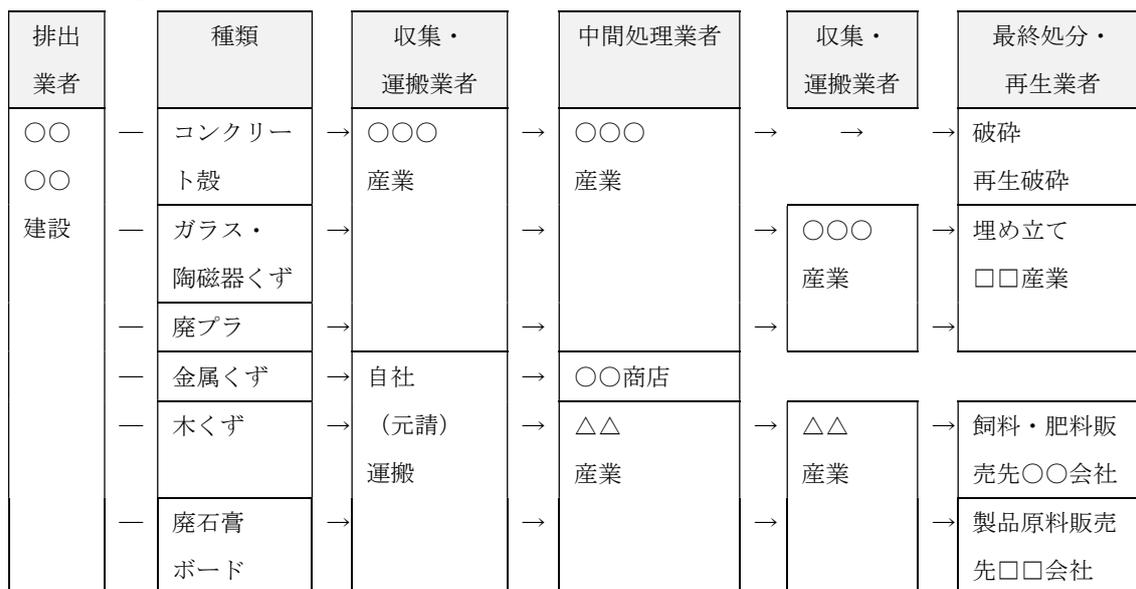
計画書(実施書)は、請負金額 100 万円以上のすべての工事の場合、(一財)日本建設情報総合センターが管理運営する「建設副産物情報交換システム」(以下、「COBRIS」という。)により作成する。

作成例

1 建設副産物の適正処理計画

- ①発生材の抑制・再利用・再資源化及び再生資源の積極活用を行う。
- ②現場内での分別収集を徹底する。
 - ・廃棄物ボックスを設置して、コンクリート殻・金属・木材・紙・廃プラ・その他に分別する。
- ③マニフェスト総括表を随時作成し、建設副産物が適正に処理されているか管理する。
- ④建設副産物対策の責任者は現場組織表による。

2 収集・運搬業者、処理業者は下記フロー図による。



3 廃材処理について、別途「建設廃棄物処理計画書」を提出する。

⑩ その他

その他必要と思われる事項について記載します。

例)・提案や創意工夫として取り組む項目及び内容

- ・過積載防止の取組みについて
- ・緊急用品の常備、夜間警備による安全(火災、盗難など)
- ・必要時期、範囲など

4. 工種別施工計画書

工種別施工計画書に記載する事項の標準的内容は下表のとおりとします。

記載事項	内容
工種別工程表	ネットワーク、バーチャート等で作成
管理組織図	施工業者名、作業の管理組織
主要資材	指定材料、主要材料、材料試験内容、材料搬入報告方法等
施工管理計画 (品質管理計画)	品質管理計画表 (品質管理項目、品質管理基準、品質管理方法)
施工管理計画 (出来形管理計画)	出来形管理計画表 (出来形管理項目、出来形管理基準、品質管理方法)
施工方法	作業フロー、施工方法、施工チェックリスト、使用機械等、添付書類
その他	総合施工計画書に記載できなかった安全対策、環境対策、仮設計画等

工種別施工計画書は以下に記載のある工種ごとに作成しなければならないものではなく、工事の内容に応じて、組み合わせて1つの施工計画書としてもよいです。

また、施工計画書を作成する工種については、総合施工計画書に記載し、監督職員(監理者)の承諾を得てください。

表紙等は、3 総合施工計画書を参考にして作成します。

なお、建設業法及び労働安全衛生法の改正に係り、以下に該当する場合は当該内容について記載します。

(1) 特例監理技術者及び監理技術者補佐の業務分担等

監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合は、監理技術者補佐との各工種における業務分担、連絡体制等以下について記載します。

- ・特例監理技術者の施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等
- ・特例監理技術者と監理技術者補佐との連絡体制(常に連絡が取れる体制であること)
- ・監理技術者補佐が担う業務等

(2) 高所作業における墜落制止用器具の使用

高さが5m以上の箇所での作業を行う場合は、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具の規格及び作業従事者の特別教育受講歴等について記載します。

1 仮設工事

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工時期(建物位置出し・レベル設定時期など)、工事工程と仮設の関連、仮設物の設置・撤去の時期、検査時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、工事用電力設備の保安責任者、作業主任者
		材料・機材	使用機材名、規格、種類、形状、寸法、材料・機材の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		報告	施工報告の項目・内容
		官公署への届等	道路占用、道路使用
		検査・試験	工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準
		安全環境対策	墜落防止、感電防止、落下物防止、粉塵・騒音・振動対策、施設利用者・近隣住民に対する安全処置、工事中の電波障害対策、足場の点検
工法 (施工要領)	仮囲設置時の外部への安全確保配慮(材料の運搬経路及び作業動線) 仮設建物、仮設設備足場、栈橋、構台、楊重設備の設置 常時の清掃・点検・整備計画 縄張り・遣り方(敷地の確認・建物位置出し)、レベル設定(設計ベンチマークの位置・仮ベンチマークの位置)		
施 工 図	配置図	材料の運搬経路及び作業動線と部外者の動線	
	足場計画図	平面図、立面図、詳細図、手すり、壁つなぎ、はね出し、すべり止め、朝顔など	
	各部分詳細図	仮囲い(位置、高さ、材料、控え等)、監督職員(監理者)事務所(規模、仕上げ、備品等)、受注者事務所、下小屋作業所及び材料置場(設備関係を含む)、危険物貯蔵所(構造、施錠、「火気厳禁」表示、消火器設置)、仮設建物、仮設設備、仮囲い、ゲート、足場、栈橋、構台、楊重設備	

2 土工事

根切り及び埋戻し

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	根切り・埋戻しの時期、山留め設置・撤去の時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、
		材料	埋戻し及び盛土の種類、使用箇所、種別、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		報告	施工報告の項目・内容
		検査・試験	受入検査の方法、検査責任者と合否判定基準、工程内検査の方法、監督職員検査の方法(時期、項目)
		安全環境対策	運搬車両の事項防止、汚染・飛散防止、騒音・振動対策、非常時の対応、山留め変位等の計測、近隣地域対策(地下水位、地盤沈下など)
工法 (施工要領)	根切り工法、順序、予定搬出土量、根切土仮置き計画、排水方法及び水質管理、地均し、山留の要否(根切り深さ1.5m超)、地中埋設物への注意(埋設配管確認のため試掘等)、障害物の処理方法、施工機械の種類・能力(低騒音・低振動)、法勾配並びに法面の養生方法、建設発生土の処理方法 運搬車両の過積載防止対策、土砂運搬車による道路の汚染防止対策 埋戻し工法(躯体への影響がない重機の作業範囲)、締固め方法、余盛り高さ		
施工図	掘削図	根切り範囲(基礎と余剰幅)・深さ・順序、釜揚の位置・寸法、ポンプ台数	
	埋戻し図	埋戻し範囲・深さ・順序	

山留め

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	山留め設置・撤去の時期、根切り・埋戻しの時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、作業主任者
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、種類、材質、形状、寸法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		報告	施工報告の項目・内容
		検査・試験	受入検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、工程内検査の方法
安全環境対策	運搬車両の事項防止、汚染・飛散防止、騒音・振動対策、非常時の対応、山留め変位等の計測方法及び異常時の対応、近隣地域対策(地下水位、地盤沈下など)		
工法 (施工要領)		山留め工法、安全を確認できる構造計算書(簡易なものを除く)、点検・計測方法、施工機械の種類、周辺近接構造物の状況確認方法	
施工図・山留め計画図		工法、範囲、深さ、支保工(段数、位置)、構台等の仮設物との取り合い	

3 地業工事

既製コンクリート杭

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	杭位置だし時期、試験杭・本杭の施工時期、施工機械・既製杭の搬入(試験杭の結果による変更の考慮)・搬出時期、検査の種類と時期、杭施工後の養生期間(セメントミルク工法等(7日程度))	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能規資格者(溶接)
		材料	杭の種類・規格・寸法・先端・頭部の形状・使用箇所・製造所名、安定液・根固め液・杭周囲固定液の仕様、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		養生	杭の保持方法(特定埋込み杭工法・セメントミルク工法)、養生期間

	検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
	報告	材料搬入・施工報告の項目及び内容(施工記録、土質試料、安定液・杭周固定液試験成績、杭心ずれ・天端高さなど)
	安全環境管理	機械の転倒防止措置、杭穴への転落防止措置、騒音・振動・油滴飛散等の防止対策、排土・排水・安定液・固定液等の発生材処理
	工法 (施工要領)	試験杭・本杭の施工方法(施工本数/日)、設計支持力(支持力算定式)確認方法、支持地盤・建入れ時鉛直性の確認方法、施工機械の仕様及び性能、施工機械・杭の搬入経路(経路の養生方法)、杭の荷卸し方法(吊り方)、ハンマ重量、継手の工法、溶接機の種類、杭頭の処理方法、地中埋設物・障害物に対する処置、杭心ずれ・天端高さの確認方法及び対応方法 JISA7201、プレボーリングの場合はその深さ セメントミルク工法:安定液・根固め液の調合計画・管理(注入量・粘性・比重・圧縮強度)の方法
施工図・杭配置図		杭番号、試験杭・本杭の位置、施工順序、掘削深さ、杭天端の高さ、既製杭の種類・径・長さ

現場打ちコンクリート杭

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	機械搬入・搬出、段取り、鉄筋加工、掘削、コンクリート打込み時期、施工図作成時期、検査の種類	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能規資格者(溶接)、施工管理技術者(基礎施工士)
		材料	鉄筋の種類と規格、コンクリートの製造所・種別・計画調合書・計算書、安定液の仕様、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		養生	コンクリートの養生方法、養生期間
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目及び内容(施工記録、土質試料、コンクリート試験成績、杭心ずれ・天端高さ、孔壁測定など)
安全環境管理	酸欠・有毒ガスに対する安全対策、機械の転倒防止措置、杭穴への転落防止措置、騒音・振動等の防止対策、安定液等		

		の廃液・排土・排水・油滴等の飛散防止と処理
	工法 (施工要領)	<p>施工方法、施工機械の仕様概要及び性能、コンクリート搬入経路・時間・打設方法、掘削制度の確認方法、安定液・泥水の管理方法、支持地盤の確認方法、スライムの処理方法、鉄筋加工・建込み・浮上り防止方法、地中埋設物・障害物に対する措置、杭頭の処理方法、杭心ずれ・天端高さの確認及び対応方法</p> <p>セメントミルク工法：安定液・根固め液の調合計画・管理(注入量・粘性・比重・圧縮強度)の方法</p>
	施工図・杭配置図	杭番号、試験杭の位置、本杭の施工順序及び深さ、杭天端の高さ、既製杭の種類・径・長さ

砂利・砂・捨コンクリート地業等

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成時期、施工時期、検査の種類	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	種類、碎石：粒度分布、捨てコンクリート：調合計画表、防湿層：材料(材質・厚み)、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全環境管理	機械の転倒防止措置、騒音・振動等の防止対策	
工法 (施工要領)	施工機械の仕様概要及び性能、コンクリート搬入経路、施工方法・仕上り程度の確認方法		
施工図・伏図	段の位置、仕上りレベル(深さ)、防湿層の施工範囲、碎石・捨てコンクリートの施工範囲(基礎幅に対する余裕)及び厚み		

4 鉄筋工事

鉄筋

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工図作成時期、材料検査の時期、配筋検査の時期、検査の種類と時期、関連工事との調整	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、規格、種類、使用区分、製造所名、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目及び内容
		安全衛生対策	作業動線計画、墜落・転倒・突き刺さり・つまずき等の防止措置
工法 (施工要領)	鉄筋の加工場所・鉄筋加工施設(切断・曲げ)、加工形状、前打込み鉄筋位置の修正、継手工法、継手位置・長さ、定着長さ・方法、異形鉄筋のフック箇所、開口部・貫通孔等の補強要領、特殊補強要領、鉄筋のかぶり厚さ及びスペーサーの材質・形状・サイズ・使用部位、養生方法(組立後の乱れ防止策)、台直しの方法、関連工事との取合い		
施工図	鉄筋補強(増打ち・開口部、貫通孔、出隅入隅部、打継部)かぶり厚さ、柱梁交差部納まり、各部のかぶり厚さ、鉄筋間隔、設備工事など関連工事との調整		

ガス圧接

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、技能資格者(ガス圧接)
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		不適合の管理	不合格となった圧接部の処置法
		検査・試験	品質管理試験の方法、試験期間
		報告	施工報告の項目及び内容
		安全衛生対策	ガスボンベの取扱い(高温時)、落下火花等に対する養生換気の確保、防護眼鏡

工法 (施工要領)	ガス圧接装置・機器の種類、圧接面の処理、天候による処理、圧接作業
--------------	----------------------------------

5 コンクリート工事

コンクリート

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	型枠組立・コンクリート打込み・養生期間及び支柱取外しの時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	製造工場	製造業者名、製造工場の管理組織、JIS 表示許可(適マーク)、製造設備及び能力、品質管理基準、運搬時間、(適マーク工場を採用できない場合:施工管理技術者(コンクリート技士等))
		現場組織	施工業者名、安全衛生組織、作業の管理組織(打設責任者名、ポンプ施工業者名、検査責任者)
		材料 (調合計画書)	コンクリートの種類、コンクリートの種別、設計基準強度(Fc)、構造体コンクリート強度、調合管理強度、調合強度、構造体強度補正值(S)、予想平均気温、暑中のSの扱い、スランプ、単位水量、単位セメント量、水セメント比、空気量、塩化物量(塩化物イオン量)、アルカリ総量、骨材の種類・品質(絶乾密度・吸水率・単位容積重量・塩分含有量)・比重・粒度分布・採取場所・塩分含有量、粗骨材の最大寸法、セメントの種類・規格・製造所名、水の種類、混和材料の種類・規格・製造所名
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		養生	打込み後の養生方法(暑中、寒中、降雨、降雪)、湿潤養生、振動・外力からの保護、養生期間
		検査・試験	供試体の採取(採取場所、養生方法、本数)、受入検査の方法、試験機関の確認、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		不適合品の管理	異状を生じたコンクリートの処理方法、部材位置・断面寸法の補修方法、じゃんか、空洞、コールドジョイント、有害なひび割れ及びたわみの補修方法
		報告	材料搬入・施工報告の項目及び内容
	安全環境管理	災害防止対策、周辺環境の保全(騒音・振動・大気汚染・水質汚濁・道路の汚れ・過積載等)	

	工法 (施工要領)	打込み区画、打込み量、打込み方法、打込み順序、打止め方法、作業動線、輸送管の大きさ、配管及び支持方法(フレキシブルホースの長さ、鉄筋・型枠の保護・清掃)
		現場内運搬用機器(ポンプ・バケット・シュート・手押し車)の選定、コンクリートポンプ車の圧送能力及び配置、生コン車の配車及び待機方法、作業員の配置、コンクリートの締固め方法、上面の仕上げの方法(タンピング方法)
		打継ぎ位置、打継ぎ方法、打継ぎ面の処理(外部及び水回りの打継ぎ)

型枠

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成時期、型枠組立時期、取外し時期、コンクリート打込み時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	安全衛生組織、施工業者名
		材料	型枠材料の種類・厚さ、支保工の種類、せき板の厚さ・樹種、型枠緊張材の種類・使用箇所(コーン・ボルト式)、はく離剤の有無・種類、インサートの材質・形状、スリーブ材・打込み断熱材の仕様、材料の品質確認方法
		施工	仕上の程度、性能、精度の目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		官公署への届等	機械等設置届
		報告	材料搬入報告・施工報告の項目及び内容
		安全衛生対策	支保工強度の安全検討、墜落・転倒防止対策、廃材の適正処理、支保工の点検
	工法 (施工要領)	型枠取りはずし条件、型枠工法の種類、ルーフトレンの打込み方法、型枠計算、清掃方法、型枠の転用計画	
コンクリート 躯体図	建物の基準線と各部材の位置、柱・梁・壁など各部材の符号及び形状・寸法、開口部・貫通部・埋込み金物の位置、型枠の使用区分、コーンの使用箇所、床こて仕上高さ、打込み断熱材の有無、増打ち、ひび割れ誘発目地、仕上げ目地寸法・形状、打継目地位置、インサート割付け、設備工事等関連工事との調整		

6 鉄骨工事

鉄骨(工場製作)

区分		記載事項	
施工計画書 工場製作	工程表	材料調達時期、工作図作成・工場製作・施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	管理組織	受注者の管理組織と製作工場との関係
		製作工場	施工実績、管理組織、機械設備、受注能力、鉄製作管理技術者、技能資格者(溶接)、超音波探傷試験者(技量・経験)
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、規格、種類、材質、形状、寸法、材料の品質確認方法
		施工	仕上の程度、性能、精度の目標
		検査・試験	自主検査の方法(組立検査(開先・ルート・予熱・ボルト孔等)、製品検査(部材の精度・溶接部社内検査))超音波探傷試験の試験方法・試験機関・試験技術者
	報告	材料搬入報告・施工報告の項目及び内容	
工作	工作・溶接(加工・組立・溶接の制作手順、開先形状、溶接工法等)、品質管理(管理項目、方法、管理値、不具合処置方法)、塗装計画(材料・工法・塗装範囲)、仮設部材の取付、製品の輸送計画		

鉄骨(現場施工)

区分		記載事項	
施工計画書 現場施	工程表	工場製作、検査の種類と時期、施工時期(アンカーボルトの設置、建て方、高力ボルト締付け、溶接作業の時期)	
	品質計画	現場組織	建方施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者(溶接)、施工管理技術者(鉄骨製作・施工等の指導及び品質管理、溶接管理)、作業主任者(鉄骨の組立て等(5m以上))
		材料	使用材料名、使用箇所、製作所名、規格、種類、寸法、保管方法
		検査・試験	受入検査(製品検査)の方法、工程内検査(建方等)の方法、各検査責任者との合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、超音波探傷試験の検査機関・試験技術者
	工程表	工場製作、施工時期、検査の種類と時期	

工	報告	材料搬入報・施工報告の項目、内容
	安全施工対策	作業区域、落下防止、搬入時間・経路
	工法 (施工要領)	仮設計画、建方計画、現場接合、アンカーボルトの保持・埋込み工法、建方作業手順と建て入れ直し方法・不具合処置方法、柱底均し工法、溶接工法、高力ボルト工法、溶融亜鉛めっき工法、錆止め塗装
	工法 (耐火被覆ある場合)	性能(耐火)、施工方法、認定工法の場合は認定書及び認定マーク、飛散防止、周辺汚染防止

工作図

区分		記載事項
施 工 図	平面図	柱・梁・小屋組等の符号、建物の基準線と鉄骨の基準線、継手位置、接合位置
	軸組図	スパン、階高、ベースプレートの位置・材質、継手、接合位置
	詳細図	柱・梁の取合い、ベース廻りの納まり、加工・溶接等の作業性の確認、高力ボルトの径・本数・ゲージ・ピッチ・へりあき、溶接の種類・開先形状・位置・長さ・材質・寸法、設備工事との関連、鉄筋の貫通孔位置・径・本数、安全タラップ等の仮設部材、仕上げ工事及び関連工事との調整
	原寸図	各部材の取合い及び寸法

7 コンクリートブロック・ALC パネル・押出成形セメント板工事 補強コンクリートブロック、コンクリートブロック

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成時期、施工時期、検査の種類と時期、養生期間	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者(溶接)
		材料	ブロックの種類、使用材料名(セメント・骨材・鉄筋共)、規格、製造所名、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		養生	振動、衝撃、荷重、直射日光、寒気、雨水に対する処置
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目及び内容

	安全衛生対策	足場の安全性、墜落防止、落下防止
	工法 (施工要領)	モルタルの調合、コンクリートの調合、充填方法、ブロックの積み方、配筋方法、あと施工アンカー・鉄筋の溶接、建具枠の取付方法、がりょう・まぐさの仕様、養生方法(出隅・突出部・踏付け面等の処理)、設備配管の施工方法
施工図	割付図	ブロック割り、配筋
	各部詳細図	ブロックと壁との取合い、交差部・端部の取合い、まぐさ・がりょう・建具の取合い、設備配管・ボックスとの取合い

ALC パネル

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工図作成時期、施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者(溶接)
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、規格、種類、運搬方法、保管方法、取付け金物、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		養生	モルタルの振動、衝撃、荷重、寒冷期の対策
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目及び内容
		安全衛生対策	足場の安全性、墜落防止、落下防止
	工法 (施工要領)	パネルの取付け方法(層間変形への追従を含む)、モルタルの調合、目地などの充填、パネルの開口、パネルの割付、養生方法	
施工図	パネル割付図	パネル割付、寸法、開口の位置、伸縮調整目地	
	各部詳細図	取付け(金物)、開口補強、躯体との取合い、建具枠との取合い、切欠き部の補強、防火区画、設備配管・ボックス等との取合い	

押出成形セメント板

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成時期、施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者(溶接)
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、規格、種類、運搬方法、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目及び内容
		安全衛生対策	足場の安全性、墜落防止、落下防止
工法 (施工要領)	パネルの取付け方法(層間変形への追従を含む)、目地などの充填、パネルの開口及び補強、パネルの割付、養生方法		
施 工 図	パネル割付図	パネル割付、寸法、開口の位置、伸縮調整目地	
	各部詳細図	取付け(金物)、開口補強、躯体との取合い、建具枠との取合い、切欠き部の補強、防火区画、設備配管・ボックス等との取合い	

8 防水工事

アスファルト防水

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	箇所別、防水の種類別施工時期、検査の種類と時期、消防法による消防署への届出(必要な場合)	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、種類、規格、取扱、保管方法(湿気、縦積み禁止、雨・日光避ける)、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容、所要量の確認
		安全衛生対策	火気対策・高熱対策、換気・酸欠防止・悪臭対策、墜落防止・落下防止、消防署への届出

	工法 (施工要領)	材料置場、アスファルト溶融釜の設置場所・製造、溶融管理方法、天候による処置、下地処理(コンクリート打継部)、ひび割れ部、施工方法、防水仕様、所要量、出隅、入隅、立上り、出入口回り、配管回り、エキスパンションジョイント部納まり、ルーフトレン回り、排水勾配、便器との取合い、防水保護層、目地割り、目地構造、仕上塗装塗り
施工図	平面図	勾配、ドレン位置、伸縮調整目地割付、設備基礎
	各部詳細図	立上りの構造・納まり、出入口回り、入隅、出隅、配管、ドレン回り、エキスパンションジョイント部の取合い

改質アスファルトシート防水

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	箇所別、防水の種類別施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、種類、規格、取扱、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容、所要量の確認
		安全衛生対策	火気対策・高熱対策、墜落防止・落下防止
	工法 (施工要領)	下地処理(コンクリート打継部・PC 板・ALC パネル板継ぎ目)、排水勾配、防水仕様、所要量、出隅、入隅、立上り、出入口回り、配管回り、エキスパンションジョイント部・ドレン回り納まり、仕上塗装塗り	
施工図	平面図	勾配、ドレン位置、設備基礎	
	各部詳細図	立上り、出入口回り、入隅、出隅、配管、ドレン回り、エキスパンションジョイント部の取合い	

合成高分子ルーフィングシート防水

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	箇所別、防水の種類別施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、種類、規格、取扱、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容、所要量の確認
		安全衛生対策	墜落防止・落下防止
工法(施工要領)	材料置場、天候による措置、施工方法、下地処理(コンクリート打継部・PC板・ALCパネル板継ぎ目)、排水勾配、防水仕様、所要量、出隅、入隅、立上り、出入口回り、配管回り、エキスパンションジョイント部・ドレン回り納まり、仕上塗装塗り		
施工図	平面図	勾配、ドレン位置、設備基礎	
	各部詳細図	立上り、出入口回り、入隅、出隅、配管、ドレン回り、エキスパンションジョイント部の取合い	

塗膜防水

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	箇所別、防水の種類別施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、種類、規格、取扱、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容、所要量の確認
		安全衛生対策	引火対策、換気・酸欠防止、墜落防止、落下防止
工法(施工要領)	材料置場、天候による措置、施工方法、下地処理(コンクリート打継部)、防水仕様、所要量、排水勾配、出隅、入隅、立上り、出入口回り、配管回り、エキスパンションジョイント部・		

		ドレン回り納まり、仕上塗装塗り
施工図	平面図	勾配、ドレン位置、設備基礎
	各部詳細図	立上り、出入口回り、入隅、出隅、配管、ドレン回り、エキスパンションジョイント部の取合い

シーリング

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	箇所別、種類別施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、貯蔵方法、被着体との組合せ、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、接着性能試験、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容、所要量の確認
	安全衛生対策	高所作業・足場の安全性・墜落防止、落下防止	
工法 (施工要領)	天候による措置、施工箇所の形状、施工方法、施工時気温、被着体表温、異種材料の使用		

9 タイル工事【別添1】作成例

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工図の作成・材料決定時期、見本焼き時期、種類別施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名(モルタル共)、使用箇所・製造所名、種類、規格、形状、寸法、色調、混和剤、接着剤、管理方法、吸水率、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法(打診試験、接着力試験方法)、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容、所要量の確認
安全衛生対策	足場の安全性、墜落防止、落下防止、室内換気		

	工法 (施工要領)	下地処理方法、施工箇所別の仕上げタイルの材質、張付け工法、張付順序、引き金物の取付け工法、目地の位置、目地の工法、目地モルタル調合、張付けモルタル塗付量、練混ぜ方法、排水勾配(雨・水掛り箇所)、関連工事との取合い(電気、機械、仮設)、気温
施工 図	割付図	タイル割付(基準線、まぐさ、窓台等)、目地寸法・位置、伸縮目地
	各部詳細図	入隅・出隅・開口部、設備機器まわり取合い

10 木工事

区分		記載事項	
施工 計 画 書	工程表	施工図の作成・材料決定時期、工事期間、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、使用箇所、樹種、規格、種別、材質、形状、寸法、防腐剤、防蟻・防虫処理、含水率、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容、所要量の確認
		安全衛生対策	足場の安全性、火気対策
工法 (施工要領)	加工(仕上げ)、組立、取付け工法、防虫・防腐・防蟻処理(使用薬剤・使用量・方法)、金物の防錆、運搬・仮置方法、養生方法		
施 工 図	伏図・軸組図	小屋組、天井下地、床組、間仕切り軸組	
	各部詳細図	建具回り、壁、天井、床取合い、造作納まり、設備機器取合い、躯体との取合い(床、柱、壁、梁、スラブ下端)、継手	

11屋根及びとい工事
長尺金属板葺

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成・材料・色の決定時期、工事期間、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	製造所名、使用材料名、種類、規格、材質、形状、寸法、厚さ、表面仕上げ、表面処理、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	高所作業、足場の安全性、墜落対策
工法 (施工要領)	下葺、性能(耐風圧)、折曲げ、はぎ合せ、留付け方法、屋根葺方法、養生方法(保護)、専門工事業者の工法		
施 工 図	割付図	割付	
	各部詳細図	谷、棟、軒先、けらば等の納まり、壁・突出物との取合い、他工種との取合い	

折板葺

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成・材料・色の決定時期、工事期間、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者(溶接)
		材料	製造所名、使用材料名、種類、規格、材質、形状、寸法、厚さ、構成部品、表面仕上げ、表面処理、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	高所作業、足場の安全性、墜落対策

	工法 (施工要領)	性能(耐風圧)、タイトフレームの取付方法、折曲げ、小はぜ掛 け、屋根葺方法、補強、防錆処理、専門工事業者の工法
施 工 図	割付図	割付
	各部詳細図	棟、軒先、けらば、補強、壁・突出物との取合い、他工種との 取合い

とい

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成時期、工事期間、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、製造所名、種類、規格、材質、形状、寸法、厚 さ、表面処理、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判 定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	高所作業、足場の安全性、墜落対策
工法 (施工要領)	とい継手工法、防露(材料・工法)、軒といメーカーによる取 付方法、とい受金物(形式・間隔・取付工法、建物の納まり)、 下がり止め、貫通部処理、掃除口、排水勾配、ルーフトレ ン(位置・高さ・取付工法・形式)		
施工図・各部詳細図		下がり止め、とい受け金物、貫通部処理、ルーフトレ ンの納まり、軒どのの軒先・壁との取合い	

12金属工事 軽量鉄骨下地

区分		記載事項
施 工 品 質	工程表	施工図等作成時期、製品製作・取付け時期、検査の種類と 時期
	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者 (溶接)
	材料	使用箇所、使用材料名、製造所名、規格、種類、材質、形状、 寸法、表面処理、鉄の垂鉛めつき、金属接触腐食防止処理、 材料の品質確認方法、保管方法

計 画 書	計 画	施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火気対策、足場の安全性
	工法 (施工要領)	加工・組立または取付方法、耐風圧(外部等)、耐震性(大空間の天井は崩落対策の検討)、開口部、天井段違い・出入口・ダクト・設備取合い等の補強、スタッド間隔、振れ止め、金属接触腐食防止処理、表面処理、溶接、ろう付け方法、養生方法	
施 工 図	割付図	材質、形状、寸法、伸縮継手の間隔、特殊形状の組立	
	各部詳細図	設備機器取合、補強方法、取付け金物、他工種の取合い	

金属成形版張り

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図等作成時期、製品製作・取付け時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、
		材料	使用箇所、使用材料名、製造所名、規格、種類、材質、形状、寸法、表面仕上げ、表面処理、鉄の亜鉛めっき、金属接触腐食防止処理、材料の品質確認方法、保管方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容	
	安全衛生対策	火気対策、足場の安全性	
	工法 (施工要領)	耐風圧、耐震性、製品取付け方法(外部・内部)金属接触腐食防止処理、養生方法(保護)、清掃方法、継手の止水性	
施 工 図	製作図	加工、取付け金物、取付け方法	
	割付図	材質、形状、寸法、割付け、伸縮継手の間隔	
	各部詳細図	設備機器取合い、補強方法、他工種との取合い	

アルミニウム製笠木

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工図等作成時期、製品製作・取付け時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、
		材料	使用箇所、使用材料名、製造所名、規格、品質、種類、材質、形状、寸法、表面処理、金属接触腐食防止処理、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火気対策、足場の安全性
工法(施工要領)	製品取付け方法(外部・内部)、風圧力・積雪荷重に対応した固定金物間隔、止水性、金属接触腐食防止処理、表面処理、溶接方法、養生方法(保護)、清掃方法		
施工図	製作図	加工、取付け金物、取付け方法	
	割付図	材質、形状、寸法、割付け、伸縮継手の間隔	
	各部詳細図	固定、取付け、設備機器取合い、補強方法、他工種との取合い(避雷導体等)、継手、出隅、入隅	

手すり・タラップ

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工図等作成時期、製品製作・取付け時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、
		材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、材質、形状、寸法、表面仕上げ、表面処理、金属接触腐食防止処理、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火気対策、足場の安全性

	工法 (施工要領)	製品取付け方法(外部・内部)、性能(耐荷重性など)金属接触腐食防止処理、表面処理、溶接、ろう付け方法、養生方法(保護)、清掃方法
施 工 図	製作図	取付け金物、取付け方法
	割付図	材質、形状、寸法、割付け、伸縮継手の間隔
	各部詳細図	固定、取付け、機器取合い、補強方法

13左官工事

モルタル・セルフレベリング材・せっこうプラスター塗及びロックウール吹付け

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	材料決定時期、施工箇所別の施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、
		材料	使用箇所、使用材料名(セメント・混和剤・保水剤・吸水調整材等)、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	足場の安全性、大気対策、換気
工法 (施工要領)	練混ぜ場所、練混ぜ方法、調合計画、塗り厚、塗り工法(施工箇所別)、下地処理・調整、モルタル仕上げの種類(施工箇所別)、各工程の養生期間及び補修確認方法、ひび割れ防止策、塗り面の浮き確認方法及び補修方法、早期乾燥・寒冷期・直射日光・降雨・強風時・汚れ防止などの養生方法、オープンタイム		
施工図・詳細図		入隅、出隅、開口部、勾配(雨掛かり部等)、目地の位置・形状・寸法	

床コンクリート直均し仕上げ

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	足場の安全性
工法 (施工要領)	表面仕上げの種類と施工場所、定規(水系、ガイドレール、ピアノ線等)		
施工図・床伏図		表面仕上げの種類と施工場所、目地の位置・形状・寸法	

仕上塗材仕上げ

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	材料決定時期、施工時期、検査の種類と時期、見本提出時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	種類、呼び名、使用箇所、使用材料名、色、つや、層構成、塗り厚、使用量、下地調整材、目地シーリングとの塗重ね適合性、規格、ホルムアルデヒド放散量、防火・不燃材料の指定及び認定、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量の確認、各工程養生期間の確認・監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	足場の安全性、大気対策、換気、近隣・利用者等への配慮	
工法 (施工要領)	見本塗板の作成、仕上の形状、施工箇所別の工法(吹付け・ローラー塗り・こて塗り)、下地調整、練り混ぜ場所・方法、放置期間とその確認方法、汚れ防止(養生)、気温・湿度の条件、足場つなぎ跡の補修方法、夏季の直射日光、施工後の強風・降雨・結露への対策		

14 建具工事

アルミニウム製建具・鋼製建具・鋼製軽量建具・ステンレス製建具

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工図等作成・製品製作・搬入・取付け時期、検査の種類と時期	
	品質計画	製作組織	製作者名、製作の管理組織
		現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者(溶接)
		材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、材質、形状、寸法、色調、性能(耐風圧・気密・水密・遮音・防火等)、型式・機構、加工・組立の順序・工法、表面処理方法(被膜厚・塗膜厚)、塗装方法、表面仕上げ(ステンレス)、防食・防錆方法、充填モルタル防水剤・凍結防止剤、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、製造者検査報告、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	火災防止、製品の倒壊・落下防止	
工法(施工要領)	運搬・仮置方法、防火戸の種別、取付け方法、塗装方法、養生方法(保護)、清掃方法		
施工図	建具位置図	位置、種類、防火区画、防煙区画	
	建具リスト	形状、寸法、数量、錠前、鍵プラン、マスターキー	
	製作図	形状・寸法、ガラス種類・ガラス留め材の種別、防火仕様、複層・網入ガラスの場合の水抜き孔、外部に面する建具の強度計算、ガラス溝形状・寸法、補強材・金物類及びその取付位置、開閉装置(排煙等)、取付け方法、排水経路、耐アルカリ処理(アルミ)、施錠方法、ストッパー位置、関連工事及び各仕上げとの取合い	

木製建具

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工図等作成・製品製作・搬入・取付け時期、検査の種類と時期	
	品質計画	製作組織	製作者名、製作の管理組織
		現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、材質、形状、寸法、表面仕上げ、塗装方法、色調、加工・組立の順序・工法、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火災防止、製品の倒壊・落下防止
工法 (施工要領)	運搬・仮置方法、枠取付け方法、塗装方法、養生方法(保護)、清掃方法		
施工図	建具位置図	位置、種類	
	建具リスト	形状、寸法、数量、錠前、鍵プラン、マスターキー	
	製作図	構造種類、形状、寸法、組立、取付け方法、金物類及びその取付位置、補強材、施錠方法、関連工事及び各仕上げとの取合い	

自動ドア開閉装置

区分		記載事項	
施工計画	工程表	製作・施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		構成部品	使用部品名、使用箇所、製造所名、規格、材質、表面処理方法(被膜厚)、保管方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火災防止、製品の倒壊・落下防止

書	工法 (施工要領)	性能、センサーの種類・位置、焼損防止、戸の開閉方法、加工・組立方法、建具との取合い、防水性(床又は屋外設置)、補助センサー、マット・スイッチ・レール等の排水、運搬、仮置方法、養生方法(保護)
施工図	建具位置図	位置、種類、形状、寸法、数量
	各部詳細図	形状、寸法、取付方法、配線、電源スイッチ、関連工事及び各仕上げとの取合い

自閉式上吊り引戸装置

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	製作・施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		構成部品	使用部品名、使用箇所、製造所名、規格、材質、表面処理方法(被膜厚)、保管方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	火災防止、製品の倒壊・落下防止	
工法 (施工要領)	性能、加工・組立方法、建具との取合い、運搬、仮置方法、養生方法(保護)		
施工図	建具位置図	位置、種類、形状、寸法、数量	
	各部詳細図	形状、寸法、取付方法、関連工事及び各仕上げとの取合い、性能(気密・遮音・防火等)	

重量シャッター

区分		記載事項	
施工	工程表	施工図等作成・製品製作・搬入・取付け時期、検査の種類と時期	
	品質	製作組織	製作者名、製作の管理組織
		現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者(溶接)
	材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、材質、形状、寸法、性能(耐風圧・防火・防煙等)、形式・機構、安全装置、表面処理方	

計 画 書	計 画	法(被膜厚・塗膜厚)、塗装方法、防食・防錆方法、色調、加工・組立の順序・工法、保管方法、材料の品質確認方法
	施工	仕上げの程度、性能、精度目標
	検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	火災防止、製品の倒壊・落下防止
	工法 (施工要領)	運搬・仮置方法、防火戸の種類、枠取付け方法、塗装方法、養生方法(保護)、清掃方法
施 工 図	シャッター位置図	位置、種類、防火区画、防煙区画
	シャッターリスト	形状、寸法、数量、錠前
	製作図	形状・寸法、補強材・金物類及びその取付位置、取付け方法、取付け高さ、施錠方法、形式及び機構、関連工事及び各仕上げとの取合い

軽量シャッター

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	製作・施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料・製品	使用材料名、使用箇所、製造所名、規格・種類・材質・形状・寸法・性能、型式・機構、安全装置、表面処理方法(被膜厚・塗膜厚)、塗装方法、防食・防錆の方法、色調、加工・組立の順序・工法、保管方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火災防止、製品の倒壊・落下防止
	工法 (施工要領)	運搬・仮置方法、枠取付け方法、塗装方法、養生方法(保護)、清掃方法	
施 工 図	シャッター位置図	位置、種類、防火区画、防煙区画	
	シャッターリスト	形状、寸法、数量、錠前	
	製作図	形状・寸法、補強材・金物類及びその取付位置、取付け方法、取付け高さ、施錠方法、形式及び機構、関連工事及び各	

	仕上げとの取合い
--	----------

オーバーヘッドドア

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	製作・施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料・製品	使用材料名、使用箇所、製造所名、規格・種類・材質・形状・寸法・性能、形式・機構、安全装置、表面処理方法(被膜厚・塗膜厚)、塗装方法、防食・防錆の方法、色調、加工・組立の順序・工法、保管方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火災防止、製品の倒壊・落下防止
工法 (施工要領)	運搬・仮置方法、枠取付け方法、塗装方法、養生方法(保護)、清掃方法		
施 工 図	オーバーヘッドドア 位置図	位置、種類、防煙区画	
	各部詳細図	形状、寸法、金物類及びその取付位置、取付方法、形式及び機構、関連工事及び仕上げとの取合い	

ガラス

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	製作・施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、規格、種類、材質、形状、寸法、切断小口処理、ガラス留め方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火災防止、製品の倒壊・落下防止

	工法 (施工要領)	性能(耐風圧、防火、断熱、強度)、加工、運搬、仮置方法、はめ込み、網入りガラスの防錆処理、養生方法(保護)、清掃方法、品質表示方法・位置
--	--------------	--

15 塗装工事

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	色見本提出時期、材料(色調を含む)決定時期、施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	塗料の種類、施工箇所、製造所名、規格、色調、つや、防火材料の指定又は認定、防カビ剤、ホルムアルデヒド放散量、研磨紙の規格、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量確認、各工程養生期間確認、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火災対策、換気対策、保管方法、洗浄液・使用済缶の処理、外部への悪臭、近隣・利用者への配慮
	工法 (施工要領)	見本塗板の作成、施工範囲、工場塗り範囲、塗装の種類・工程・塗布量又は膜厚、仕様・色調管理表、研磨・パテかい・パテしごき・素地ごしらえの方法、工法(はけ、吹付、ローラー)区分、中塗り・上塗りの色分け、養生方法、湿度	

16 内装工事

ビニル床シート・ビニル床タイル・ゴム床タイル張り

区分		記載事項	
施 工 計	工程表	材料決定(見本提出)時期、施工箇所ごとの施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	施工箇所毎:使用材料名・製造所名・規格・種類・寸法・厚さ・材質・色調・記号・性能(帯電防止・視覚障がい者用・耐動荷重性)、接着剤(種類・配合・ホルムアルデヒド放散量)、材料の品質確認方法

計 画 書	施工	仕上げの程度、性能、精度目標
	検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量確認、監督職員検査の方法(時期・項目)
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	火気対策、換気対策
	工法 (施工要領)	下地処理、表面仕上げ、接着剤の種類、割付け、接合方法、見切り部分の納まり、養生方法(保護)、貼付前準備
施 工 図	割付図	割付け、模様合せ(継目位置)
	各部詳細図	隅部、柱回り、設備器具取合い、他の仕上材との取合い、点検口の納まり、防火・防煙区画の処理

カーペット敷き

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	材料決定(見本提出)時期、施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用箇所、使用材料名、品質、密度、製造所名、種別、規格、寸法、厚さ、防災性能、帯電性、防虫加工、保管方法、取付用付属品、接着剤(ホルムアルデヒド放散量)、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量確認、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火気対策、換気対策
		工法 (施工要領)	下地処理、工法、接合方法、カーペットの種類、下地・工法に応じた管理方法、敷き方(市松張り、流し張り等)、割付け要領(継目位置等)、各部取合い(他の仕上材・点検口、設備機器)、養生方法(保護)
施工図 割付図	割付け(継目位置)、模様合せ		

合成樹脂塗り床

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	見本提出、色調決定時期、施工箇所毎の施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用箇所、使用材料名、製造所名、規格、種類、材質、色調、配合、材料の品質確認方法、保管方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量確認、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火気対策、換気対策
工法(施工要領)	下地状況の確認、下地処理、室別・場所別の工法(表面仕上り状態(平滑・防滑・つや消し)、施工方法(流し展べ、樹脂モルタル等))、プライマーの種類、使用量、施工環境(気温、湿度、結露、じんあい)、見切り部分の納まり、養生方法(保護)		
施工図	各部詳細図	隅部、柱・幅木回り、設備器具取合い、他の仕上材との取合い、点検口の納まり	

フローリング張り

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	材料決定(見本提出)時期、施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	施工箇所、使用材料名、製造所名、種別、規格、寸法、板厚、材質、色調、ホルムアルデヒド放散量、裏面処理、釘類及び接着剤の種類、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量確認、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火気対策、換気対策

	工法 (施工要領)	下地処理、表面仕上げ、工法(釘留め工法、接着工法、モルタル埋込工法)、割付け、見切り部、壁との納まり、養生方法(保護)
施工図 割付図		割付け、模様合せ

畳敷き

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	材料決定(見本提出)時期、施工時期(採寸・製作・敷込み)、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	施工箇所、使用材料の材質(畳表、畳床、へり)、寸法、製造所名、保管方法、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火気対策
工法(施工要領)		搬入計画、敷込み、養生方法(保護)	
施工図		室別畳割り、隅部等取合いの納まり	

せっこうボード・その他ボード・合板張り

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	材料決定(見本提出)時期、施工箇所ごとの施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	施工箇所毎:使用材料名・製造所名・種類・寸法・厚さ・材質・色調・規格(防火性能、ホルムアルデヒド放散量)、釘類(材質、長さ等)、接着剤(種類・配合・ホルムアルデヒド放散量)、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、使用量の確認
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	火気対策、換気対策

	工法 (施工要領)	下地処理、表面仕上げ、接着剤の種類、固定間隔、割付け、 目地(継目処理・突付け・目透かし)、見切り部分の納まり、 養生方法(保護)
施 工 図	割付図	割付け
	各部詳細図	出隅・入隅納まり、柱回り、設備器具取合い、各部取合い(出 入口・窓)、他の仕上材との取合い、点検口の納まり、防火・ 防煙区画の処理

壁紙張り

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	材料決定(見本提出)時期、施工箇所ごとの施工時期、検査 の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	施工箇所毎:使用材料名・製造所名・種類・性能・規格(防火 性能、ホルムアルデヒド放散量)、保管方法、接着剤(種類・ ホルムアルデヒド放散量)、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判 定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、使用量の確認
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	火気対策、換気対策	
工法 (施工要領)	素地ごしらえ、継目処理、見切り部分の納まり、養生方法 (保護)		

断熱・防露

区分		記載事項	
施 工 計 画	工程表	材料決定(見本提出)時期、施工箇所ごとの施工時期、検査 の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	施工箇所毎:使用材料名・製造所名・種別・寸法・厚さ・材質・ 性能・規格(防火性能、ホルムアルデヒド放散量)、接着剤 (種類・配合・ホルムアルデヒド放散量)、保管方法、材料の 品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標

画 書	検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、使用量の確認
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	火気対策(火気厳禁の表示等)、換気対策
	工法 (施工要領)	(打込み)型枠への取付方法、コンクリート打込み時の留意点、損傷等の処置 (現場発泡)断熱材製造所の仕様、厚みの確認、細部の施工方法

17ユニット及びその他工事(ユニット工事・プレキャストコンクリート工事・間知石・コンクリート間知ブロック積み)

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	現場計測時期、施工図作成時期、材料決定時期、製作・搬入時期、取付施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、製造所名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用箇所、使用材料、材質、形状、規格、開閉機構、防災性能、色、柄
			【PC】使用箇所、使用材料(規格)、鉄筋・鉄線・溶接金物、取付金物
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	足場の安全性、落下防止	
工法 (施工要領)	設置工法、取付金物の取付方法、仕上り性能、開閉機構、養生方法(保護)		
	【PC】コンクリート材料及び調合、調合強度、配筋方法、取付金物取付方法、型枠の材料・組み方、養生時間・温度		
	【間知】間知石積みの工法、コンクリート間知ブロック積みの工法		
施 工 図	製作図・取付け図	位置、種類、形状、取付方法、納まり、開閉方式、各仕上との取合い	
		【PC】寸法、配筋、継手、定着、取付金物、数量、かぶり厚さ、取付方法	

配置、横断、立面、詳細図	【間知】位置、高さ、形状、材質、水抜き処理、勾配
--------------	--------------------------

18排水工事

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成時期、材料決定時期、施工箇所毎の施工時期、検査の種類と時期、官公署などへの届出時期、通水試験等の時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	施工箇所、材種、形状、寸法、製造所、規格、強度等、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	山留め管理、安全通路、重機との分離措置、重機の点検整備管理
工法 (施工要領)	掘削方法、山留め方法、埋戻し方法、排水管・排水柵敷設・接続方法、コンクリート調合及び打込み工法、発生土処理方法、養生方法(保護・転落防止)		
施 工 図	平面図・断面図	排水管:位置・深さ・勾配・径・材質 排水柵:位置・深さ・仕上げ高さ・泥溜り高さ・蓋の仕様 既存工作物・他工事埋設物との取合い	
	各部詳細図	標準断面、各部納まり、排水柵(構造・形状)、他工事との取合い	

19舗装工事(アスファルト系舗装・コンクリート舗装・ブロック系舗装)

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工図作成時期、材料決定時期、施工箇所毎の施工時期、他工事との関連、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		材料	使用材料名、使用箇所、製造所名、規格、種類、材質、形状、寸法、アスファルト混合物の配合、再生材の使用、材料の品質確認方法

工 計 画 書	計 画	施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	重機・騒音・飛散防止対策、道路汚染対策等、重機との分離措置、重機の点検整備管理
	工法 (施工要領)	舗装の構造、施工機械、目地割り及び目地の構造、舗装工法、寒冷期の舗装、発生土処理方法、養生方法(保護)、路床の不良土・障害物の処理、締固め方法	
施 工 図	施工図・ 平面図・断面図	舗装の種類、層構成、厚さ、勾配、高さ、目地、縁石等の位置、排水勾配の確保	

20植栽工事

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工箇所ごとの施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		製品(樹木)・材料	樹種、芝、吹付け種用種子、使用箇所、寸法、数量、生産地、土壌改良剤、肥料、植込み用土、支柱、製品・材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	道路の汚染、砂ぼこり
		工法 (施工要領)	植栽地の確認、植栽基盤、運搬・仮置き方法、植込み穴の形状、支柱の方法、移植の方法、幹巻き、芝張り等の工法、養生方法(保護)、植込み用土(客土)の量

21各種メーカー仕様工事

区分		記載事項
施	工程表	施工図作成時期、施工時期、検査の種類
	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
	材料	材料の品質確認方法、配合条件

工 計 画 書	品 質 計 画	施工	性能、施工精度の目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	機械の転倒防止措置、騒音・振動等の防止対策
	工法 (施工要領)	施工方法、施工機械の仕様概要及び性能、位置・寸法・形状の確認方法	
施工図		納まり等	

22改修工事

防水改修

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工箇所ごとの防水種類別施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		製品・材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、製造所名、取扱い、保管方法、製品・材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量確認、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	足場の安全性、落下防止、火気対策
	工法 (施工要領)	既設調査、改修方針、工事中の漏水対策、施工範囲及び防水層の種類、既存保護層、既存防水層の撤去、ルーフトレン回りの処理、既存下地の補修及び処置、排水勾配、材料等置き場、エキスパンションジョイント部分の改修、新設防水工法「8防水工事」による、異種防水層接続部の処置、養生方法	
施工図		各部詳細、納まり等	

※品質計画はこれによるほか、「8 防水工事」の防水の種類に応じた記載事項を参照する。

外壁改修

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工箇所ごとの施工時期、検査の種類と時期、見本提出・決定時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		製品・材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、材質、性能、塗料等使用量、製品・材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量確認、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	足場の安全性、落下防止、火気対策、近隣・利用者への配慮
工法 (施工要領)	既設調査、改修方針、改修工法(工法種別、施工箇所・面積、使用する機器・器具類)、養生方法(施工中及び完了後)、ひび割れ・浮き・欠損の確認及び補修方法、下地調整・下地処理、改修塗り仕上工法、目地改修、その他「8 防水工事(シーリング)、9 タイル工事、13左官工事、15塗装工事」等による		

※品質計画はこれによるほか、「8 防水工事(シーリング)、9 タイル工事、13 左官工事、15 塗装工事」の防水の種類に応じた記載事項を参照する。

建具改修

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工図作成時期、製品製作、搬入時期、取付け時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		製品・材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、材質、寸法、性能、付属部品、製品・材料の品質確認方法
		施工	取付け精度
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	足場の安全性、落下防止、火気対策

	工法 (施工要領)	改修工法、納まり、養生方法、防食・防錆処理、撤去方法、下地処理、新設建具「14 建具工事」による
施工図		製作図、各部詳細図

※品質計画はこれによるほか、「14 建具工事」の建具の種類に応じた記載事項を参照する。

内装改修

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工箇所ごとの施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		製品・材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、材質、形状、寸法、性能、製品・材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、使用量確認、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	落下防止、火気・換気対策	
工法 (施工要領)	既設撤去方法、下地調整・下地処理、改修工法、納まり、養生方法、その他「16 内装工事」による		

※品質計画はこれによるほか、「16 内装工事」の内装の種類に応じた記載事項を参照する。

塗装改修

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	色見本提出時期、材料(色調を含む)決定時期、施工箇所ごとの施工時期、検査の種類と時期	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織
		製品・材料	塗料の種別、使用箇所、製造所名、規格、色調、つや、防火材料の指定又は認定、防かび剤、ホルムアルデヒド放散量、研磨紙の規格、材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、塗布量確認、各工程養生期間確認、監督職員検査の方法(時期・項目)		

	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	足場の安全性、落下防止、火気・換気対策、保管方法、洗浄液・使用済缶の処理、外部への悪臭、近隣・利用者等への配慮
	工法 (施工要領)	下地の状態確認、下地調整・下地処理、その他「15 塗装工事」による

耐震改修

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	施工箇所ごとの施行時期、検査の種類と時期、既設構造体等調査・測定	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、技能資格者(溶接)、超音波探傷試験者
		製品・材料	使用箇所、使用材料名、規格、種類、材質、寸法、性能、製品・材料の品質確認方法、材料の保管方法、材料の加工場所(現場または工場の別)
		施工	性能、施工精度の目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
		安全衛生対策	足場の安全性、落下防止、火気対策
	工法 (施工要領)	既設状況調査、改修工法、既存壁・仕上げ材等の撤去、既存躯体の実測と墨出し、納まり、下地処理(目荒らしの程度)、養生方法、関連工事との取合い(貫通孔及びアンカー工事等)、その他「4 鉄筋工事、5コンクリート工事、6鉄骨工事、22改修工事[あと施工アンカー]」等による	
施工図		各部詳細図、納まり	

あと施工アンカー

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	施工箇所ごとの施工時期、検査の種類と時期	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織、施工管理技術者(あと施工アンカー)、技能者
		製品・材料	製品・材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	足場の安全性、落下防止	
工法 (施工要領)	鉄筋等の探査、穿孔深さ、穿孔孔の清掃、穿孔時の排水処理、アンカーの埋込み深さ確認方法、上向き作業の場合の方法、養生方法		

23解体・除却工事

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	既設調査、施工箇所ごとの施工時期、検査の種類と時期、電気・ガス・水道・電話・テレビ・通信・消火管等の切断・切り回し、アスベスト調査	
	品質計画	現場組織	施工業者名、作業の管理組織、安全衛生組織 〔アスベスト処理がある場合〕専門工事業者、石綿作業主任者、除去作業者、特別管理産業廃棄物管理責任者(成形板除く)
		製品・材料	養生種類、規格、材質、形状、製品・材料の品質確認方法
		施工	仕上げの程度、性能、精度目標
		検査・試験	受入検査の方法、工程内検査の方法、検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	安全衛生対策	足場の安全性、落下防止、道路の汚染、砂ぼこり防止、近隣対策、防護管	
工法 (施工要領)	撤去方法、解体順序、機械の種類、養生方法(既設工作物)、切り回し、配管等の切断方法及び位置の明示方法、コンデンサ、蓄電池等の事前措置、浄化槽の措置、建設副産物の		

		積載・運搬・処理、アスベスト処理方法、粉じん測定、運搬車両の過積載防止対策、土砂運搬車による道路の汚染防止対策
--	--	---

24電気設備工事

電力設備工事(配管・配線、架空配線、地中配線)

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	関連工事の施工時期、施工図の作成時期、関連工事との調整、工期、施工時期(準備・機材搬出入・施工・清掃・養生・工程内検査)、本受電時期、試運転調整時期、各種検査時期、埋込配管・スリーブ仮枠入れ、インサート取付け	
	品質計画	現場組織	施工者名、製造者名、作業の管理組織、作業主任者、技術資格者、消防設備士の確認(等級の確認)
		機器及び材料	材料名、製造所名、規格、品質、性能、数量、種類、材質、色、形状、寸法、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法(絶縁抵抗・絶縁耐力等)、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各試験責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
工法(施工要領)	工法、現場施工要領、施工状況の確認方法、当該工種の施工にあたっての着手条件・作業条件・工期		
施工図等	配管配線図	設計図書との整合性、他工事との取合い(ダクト・機械設備工事・建築工事他)、防火・防煙区画との整合性、支持方法	

電力設備工事(接地)

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	関連工事の施工時期、施工図の作成時期、関連工事との調整、工期、施工時期(準備・機材搬出入・施工・清掃・養生・工程内検査)、本受電時期、試運転調整時期、各種検査時期	
	品質計画	現場組織	施工者名、製造者名、作業の管理組織、作業主任者、技術資格者
		機器及び材料	材料名、製造所名、規格、品質、性能、数量、種類、材質、形状、寸法、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法(接地抵抗等)、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各試験責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
工法(施工要領)	工法、現場施工要領、施工状況の確認方法、当該工種の施工にあたっての着手条件・作業条件・工期		
施工図等	配管配線図	設計図書との整合性、他工事との取合い	

電力設備工事(電灯、動力、電熱、雷保護)

区分		記載事項
	工程表	関連工事の施工時期、施工図の作成時期、関連工事との調整、工期、施工時期(準備・機材搬出入・施工・清掃・養生・工程内検査)、本受電時期、試運転調整時期、各種検査時期、埋込配管・スリーブ仮枠入れ、インサート取付け
	現場組織	施工者名、製造者名、作業の管理組織、作業主任者、技術資格者
	機器及び材料	材料名、機材名、製造所名、規格、型番、品質、性能、数量、種類、材質、色、形状、寸法、機材の品質確認方法

施 工 計 画 書	施工	性能、施工精度の目標
	機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
	施工の試験	試験時期、試験方法(絶縁抵抗・絶縁耐力等)、試験機器、合否判定基準(管理値) 〔分電盤、OA 盤、実験盤、開閉器箱〕(全数)外観試験、構造試験、シーケンス試験 〔照明器具〕点灯試験(全数) 〔照明制御装置〕総合動作試験(全数) 〔非常用照明装置〕照度測定 〔コンセント〕極性試験(全数) 〔制御盤〕外観、構造、シーケンス、動作特性試験(全数) 〔動力設備〕電動機の回転方向又は相回転、機器の発停、運動・インターロック、限時継機器及び保護継電器の整定、電流計赤指針の設定、警報回路の動作 〔発熱線等〕導通試験、絶縁抵抗試験 〔防火区画貫通の耐火処理工法〕関係法令による耐火性能の証明
	検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	工法 (施工要領)	工法、現場施工要領、施工状況の確認方法、当該工種の施工にあたっての着手条件・作業条件・工期
施 工 図 等	配管配線図	設計図書との整合性、他工事との取合い、作業・保守点検空間の確保(埋込形照明器具の位置ボックス等)、支持方法

受変電設備

区分		記載事項
	工程表	関連工事の施工時期、施工図の作成時期、関連工事との調整、工期、施工時期(準備・機材搬出入・施工・清掃・養生・工程内検査)、本受電時期、試運転調整時期、各種検査時期
	現場組織	施工者名、製造者名、作業の管理組織、作業主任者、技術資格者

施 工 計 画 書	品 質 計 画	機器及び材料	材料名、機材名、製造所名、製造所住所、取扱代理店、規格、型番、品質、性能、数量、種類、材質、形状、寸法、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験機器、合否判定基準(管理値)、試験方法(構造・絶縁抵抗・耐電圧・継電器特性・総合動作・接地抵抗等)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	工法 (施工要領)	工法、現場施工要領、施工状況の確認方法、当該工種の施工にあたっての着手条件・作業条件・工期	
施 工 図 等	製作図	製造業者名、仕様、寸法、種類、その他	
	配管配線図	設計図書との整合性、作業・保守点検空間の確保、支持方法	

電力貯蔵設備

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	関連工事の施工時期、施工図の作成時期、関連工事との調整、工期、施工時期(準備・機材搬出入・施工・清掃・養生・工程内検査)、本受電時期、試運転調整時期、各種検査時期	
	現場組織	施工者名、製造者名、作業の管理組織、作業主任者、技術資格者	
	品 質 計 画	機器及び材料	材料名、機材名、製造所名、製造所住所、取扱代理店、規格、型番、品質、性能、数量、種類、材質、形状、寸法、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法(構造試験・絶縁抵抗・総合動作等)、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法

	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	工法 (施工要領)	工法、現場施工要領、施工状況の確認方法、当該工種の施工にあたっての着手条件・作業条件・工期
施工 図 等	製作図	製造業者名、仕様、寸法、種類、その他
	配管配線図	設計図書との整合性、作業・保守点検空間の確保、防火・防煙区画との整合性、支持方法

発電設備

区分		記載事項	
施工 計 画 書	工程表	関連工事の施工時期、施工図の作成時期、関連工事との調整、工期、施工時期(準備・機材搬出入・施工・清掃・養生・工程内検査)、本受電時期、試運転調整時期、各種検査時期	
	現場組織	施工者名、製造者名、作業の管理組織、作業主任者、技術資格者	
	品質 計 画	機器及び材料	材料名、機材名、製造所名、製造所住所、取扱代理店、規格、型番、品質、性能、数量、種類、材質、形状、寸法、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
	機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明	
	施工の試験	試験時期、試験方法(絶縁抵抗・総合動作等)、試験機器、合否判定基準(管理値)	
	検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法	
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容	
	工法 (施工要領)	工法、現場施工要領、施工状況の確認方法、当該工種の施工にあたっての着手条件・作業条件・工期	
施工 図 等	製作図	製造業者名、仕様、寸法、種類、その他	
	配管配線図	設計図書との整合性、他工事との取合い、作業・保守点検空間の確保、支持方法	

通信・情報設備

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	関連工事の施工時期、施工図の作成時期、関連工事との調整、工期、施工時期(準備・機材搬出入・施工・清掃・養生・工程内検査)、本受電時期、試運転調整時期、各種検査時期	
	品質計画	現場組織	施工者名、製造者名、作業の管理組織、作業主任者、技術資格者、消防設備士等の確認(等級の確認)
		機器及び材料	材料名、機材名、製造所名、製造所住所、取扱代理店、規格、型番、品質、性能、数量、種類、材質、形状、寸法、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法(絶縁抵抗等)、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
工法(施工要領)	工法、現場施工要領、施工状況の確認方法、当該工種の施工にあたっての着手条件・作業条件・工期		
施工図等	製作図	製造業者名、仕様、寸法、種類、その他	
	配管配線図	設計図書との整合性、他工事との取合い、作業・保守点検空間の確保、防火・防煙区画との整合性、支持方法	

中央監視制御設備

区分		記載事項	
施工	工程表	関連工事の施工時期、施工図の作成時期、関連工事との調整、工期、施工時期(準備・機材搬出入・施工・清掃・養生・工程内検査)、本受電時期、試運転調整時期、各種検査時期	
	品質	現場組織	施工者名、製造者名、作業の管理組織、作業主任者、技術資格者、消防設備士等の確認(等級の確認)
		機器及び材料	材料名、機材名、製造所名、製造所住所、取扱代理店、規格、型番、品質、性能、数量、種類、材質、形状、寸法、機材

計 画 書	計 画	の品質確認方法
	施工	性能、施工精度の目標
	機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
	施工の試験	試験時期、試験方法(絶縁抵抗等)、試験機器、合否判定基準(管理値)
	検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	工法 (施工要領)	工法、現場施工要領、施工状況の確認方法、当該工種の施工にあたっての着手条件・作業条件・工期
施 工 図 等	製作図	製造業者名、仕様、寸法、種類、その他
	配管配線図	設計図書との整合性、他工事との取合い

25機械設備工事

配管

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	関連工事との整合性、施工図の作成時期、施工時期(準備・前工程確認・仮設・段取・機材搬出入・スリーブ施工・配管・機器等取付け時期、据付・清掃・養生・工程内検査・次工程への引継)、給水本設時期、試運転調整時期、各種検査時期(受注者・監督職員共)	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名(主任技術者・担当者)、作業の管理組織、作業主任者、技能資格者(溶接等)、技術資格者(消防設備士等(等級の確認))
		機材	使用機材名、使用箇所、商品名、規格、品質、性能、数量、種類、材質、型番、色、形状、寸法、耐震性能、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法(満水・水圧・気密・耐圧等)、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任

		者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	工法 (施工要領)	材料等の運搬方法・保管方法・養生方法、発生材処理方法、配管の接続方法(ねじ・フランジ・溶接等)、勾配、支持方法(耐震・防振)、防火・防煙区画等の貫通部処理方法、防錆方法、はり貫通孔、壁型枠孔等及びその補強、電気配管・配線・足場の種類・楊重計画等、資材の保管場所・保管方法、既存既設部分・工事目的物の施工済み部分の養生方法、使用機械工具の確認、表示事項
施工図等	配管図	設計図書との整合性、他工事との取合い(ダクト・電気工事・建築工事他)、作業・保守点検空間の確保(継手・ボルト・ナット等の締付、バルブ・ストレーナの保守)、防火・防煙区画との整合性、支持方法・勾配の確保

保温、塗装及び防錆

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	関連工事との整合性、施工図の作成時期、施工時期(準備・前工程確認・仮設・段取・機材搬出入・配管・機器等取付け時期、据付・清掃・養生・工程内検査・次工程への引継)、各種検査時期(受注者・監督職員共)	
	現場組織	施工業者名(主任技術者・担当者)、作業の管理組織、作業主任者	
	品質	機材	使用機材名、使用箇所、商品名、規格、品質、性能、数量、種類、材質、型番、色、形状、寸法、機材の品質確認方法
	計画	施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
	検査	試験時期、試験方法、試験機器、合否判定基準(管理値)	
	報告	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法	
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容	
工法 (施工要領)		材料等の運搬方法・保管方法・養生方法、発生材処理方法、施工方法、厚さ、塗料の種類及び塗回数、前処理、足場の種類・楊重計画等、資材の保管場所・保管方法、既存施設部	

		分・工事目的物の施工済み部分の養生方法、使用機械工具の確認、表示事項
施工図等	配管図	設計図書との整合性、防火・防煙区画との整合性、

空気調和設備

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	関連工事との整合性、施工図の作成時期、施工時期(準備・前工程確認・仮設・段取・製作・機材搬出入・スリーブ施工・配管・機器等取付け時期、据付・清掃・養生・工程内検査・次工程への引継)、給水本設時期、試運転調整時期、各種検査時期(受注者・監督職員共)	
	現場組織	施工業者名(主任技術者・担当者)、作業の管理組織、作業主任者、技能資格者(溶接等)	
	品質計画	機材	使用機材名、使用箇所、製造所名、規格、性能、数量、型番、色、材料名、種類、材質、形状、寸法、耐震性能、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
工法(施工要領)	材料等の運搬方法・保管方法・養生方法、発生材処理方法、配管の接続方法(ねじ・フランジ・溶接等)、勾配、支持方法(耐震・防振)、防火・防煙区画等の貫通部処理方法、防錆方法、はり貫通孔・壁型枠孔等及びその補強、電気配管・配線、足場の種類・揚重計画等、資材の保管場所・保管方法、既存施設部分・工事目的物の施工済み部分の養生方法、使用機械工具の確認、表示事項		
施工	製作図	製造業者名、仕様、性能(計算書)、寸法、種類、付属品	

図等	配管図	設計図書との整合性、他工事のと取合い(ダクト・電気工事・建築工事他)、作業・保守点検空間の確保、防火・防煙区画との整合性、支持方法
----	-----	---

自動制御設備

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	関連工事との整合性、施工図の作成時期、施工時期(準備・前工程確認・仮設・段取・製作・機材搬出入・機器等取付け時期、据付・清掃・養生・工程内検査・次工程への引継)、試運転調整時期、各種検査時期(受注者・監督職員共)	
	現場組織	施工業者名(主任技術者・担当者)、製作及び作業の管理組織、作業主任者	
	品質計画	機材	使用機材名、使用箇所、機材識別方法、製造所名、規格、性能、数量、型番、色、材料名、種類、材質、形状、寸法、耐震性能、機材の品質確認方法
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容	
工法(施工要領)	材料等の運搬方法・保管方法・養生方法、発生材処理方法、施工方法、表示事項		
施工図等	製作図	製造業者名、仕様、性能、寸法、種類、付属品	
	配管図	設計図書との整合性	

給排水衛生設備

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	関連工事との整合性、施工図の作成時期、施工時期(準備・前工程確認・仮設・段取・製作・機材搬出入・スリーブ施工・配管・機器等取付け時期、据付・清掃・養生・工程内検査・次工程への引継)、給水本設時期、試運転調整時期、各種検査時期(受注者・監督職員共)	
	品質計画	現場組織	施工業者名(主任技術者・担当者)、製作及び作業の管理組織、作業主任者
		機材	使用機材名、使用箇所、製造所名、規格、性能、数量、型番、色、材料名、種類、材質、形状、寸法、耐震性能、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法(満水・水圧・気密・耐圧等)、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
工法 (施工要領)	材料等の運搬方法・保管方法・養生方法、発生材処理方法、施工方法		
施工図等	製作図	製造業者名、仕様、性能(計算書)、寸法、種類、付属品	
	配管図	設計図書との整合性、他工事との取合い、バルブ・ストレーナの保守	

ガス設備

区分		記載事項
	工程表	関連工事との整合性、施工図の作成時期、施工時期(準備・前工程確認・仮設・段取・機材搬出入・スリーブ施工・配管・機器等取付け時期、据付・清掃・養生・工程内検査・次工程への引継)、試運転調整時期、各種検査時期(受注者・監督職員共)

施 工 計 画 書	品 質 計 画	現場組織	施工業者名(主任技術者・担当者)、作業の管理組織、作業主任者、技能資格者(溶接等)
		機材	使用機材名、使用箇所、機材識別方法、製造所名、規格、性能、数量、型番、色、材料名、種類、材質、形状、寸法、耐震性能、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法(気密・耐圧・点火等)、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
		報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	工法 (施工要領)	機材等の運搬方法・保管方法・養生方法、発生材処理方法、施工方法、支持方法、埋設深さ、はり貫通孔・壁型枠孔及びその補強、電気配管・配線、配管の接続方法、防火・防煙区画等の貫通部処理方法、防錆方法、表示方法	
施工図・配管図		設計図書との整合性、他工事との取合い(ダクト・電気工事・建築工事他)、作業・保守点検空間の確保、防火・防煙区画との整合性、支持方法	

浄化槽設置

区分		記載事項	
施 工 計 画 書	工程表	関連工事との整合性、施工図の作成時期、浄化槽設置届提出時期、施工時期(準備・前工程確認・仮設・段取・製作・機材搬出入・配管・機器等取付け時期、据付・清掃・養生・工程内検査・次工程への引継)、試運転調整時期、各種検査時期(受注者・監督職員共)	
	品 質 計 画	現場組織	施工業者名(主任技術者・担当者)、製作及び作業の管理組織、作業主任者、浄化槽設備士
		機材	使用機材名、使用箇所、機材識別方法、製造所名、規格、性能、数量、型番、材料名、種類、材質、形状、寸法、機材の品質確認方法
		施工	性能、施工精度の目標
	機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明	

	施工の試験	試験時期、試験方法、試験機器、合否判定基準(管理値)
	検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容
	工法 (施工要領)	材料等の運搬方法・保管方法・養生方法、発生材処理方法、電気配管・配線、勾配、表示事項、既存施設部分・工事目的物の施工済み部分の養生方法、その他必要に応じて「1 仮設工事、2土工事、3地業工事、4鉄筋工事、5コンクリート工事、8防水工事」等参照
施工図等	施工図	製造業者名、仕様、性能(計算書)、寸法、種類、付属品、機材納まり、排気管勾配・位置・高さ、設計図書との整合性、他工事との取合い、作業・保守点検空間の確保

機器取付

区分		記載事項	
施工計画書	工程表	関連工事との整合性、施工図の作成時期、施工時期(準備・前工程確認・仮設・段取・製作・機材搬出入・配管・機器等取付け時期、据付・清掃・養生・工程内検査・次工程への引継)、試運転調整時期、各種検査時期(受注者・監督職員共)	
	現場組織	施工業者名(主任技術者・担当者)、製作及び作業の管理組織、作業主任者	
	品質	資材	材料名、製造所名、種類、規格、性能、数量、材質、耐震性能、材料の品質確認方法
	計画	施工	性能、施工精度の目標
		機材の試験	試験機材、試験方法、試験成績書の提出、試験代替証明
		施工の試験	試験時期、試験方法、試験機器、合否判定基準(管理値)
		検査	材料・機材の受入検査・施工管理検査の方法、各検査責任者と合否判定基準、監督職員検査の方法(時期・項目)、測定機器の校正方法
	報告	材料搬入・施工報告の項目・内容	
	工法 (施工要領)	機材等の運搬方法・保管方法・養生方法、発生材処理方法、施工方法、揚重計画、搬入経路、その他「4鉄筋工事、5コン	

		クリート工事」参照
施 工 図 等	製作図	製造業者名、仕様、性能(計算書)、寸法、種類、付属品
	配管図	設計図書との整合性、他工事との取合い

〇〇〇〇 学校長寿命化改良工事

タイル工事施工計画書

請負者 〇〇・〇〇特定建設工事共同企業体

目 次

1	総 則	P-2
2	工 事 概 要	P-3 ～ P-4
3	現 場 の 組 織	P-5 ～ P-6
4	工 程 表	P-7 ～ P-8
5	品 質 方 針 ・ 施 工 方 針	P-9
6	使 用 材 料	P-10
7	施 工 管 理	P-11 ～ P-12
8	自 主 検 査	P-13 ～ P-14
9	安 全 衛 生 管 理	P-15 ～ P-16
10	添 付 資 料	P-17

1. 総 則

1-1 適用範囲

本施工計画書は、〇〇〇〇学校長寿命化改良工事のうち、タイル工事の趣旨を反映し適用する。

1-2 適用図書

本工事は下記の仕様書及び設計図に基づいて施工する。

- 1) 犬山市契約規則
- 2) 設計図書等に対する質問及び質問回答書
- 3) 特記仕様書
- 4) 設計図書
- 5) 改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和7年版)
- 6) 標準仕様書(建築工事編) (令和7年版)
- 7) 関係法令及び諸工事基準

1-3 疑義に対する協議と変更

設計図書類に記載のない事項や、内容に疑義を生じた場合、また本施工計画書を変更する必要がある場合は、工事着手前に監理者と十分協議の上で承諾を得て施工する。

1-4 施工計画書の承諾と周知

- 1) 施工計画書は、基本要件品質を満たす品質計画と、仮設計画、安全・環境対策、工程計画・養生計画を含んだ内容とする。
- 2) 設計図書でそのまま施工を行う場合でも、施工図を作成し、監理者の承諾を得て施工する。
- 3) 承諾を受けた施工計画書や施工図は、事前に関係業者や作業員に十分周知し施工をする。

2. 工事概要

工事名称：○○○○学校長寿命化改良工事

工事場所：犬山市大字○○○○ ○○番

工事期間：着工 令和 ○年 ○月 ○日
完成 令和 ○年 ○月 ○日

発注者：犬山市長 ○○ ○○

担当課：犬山市 ○○部○○課

設計・監理者：株式会社 ○○設計

請負者：○○・○○特定建設工事共同企業体

工事内容 主要用途：小学校

用途地域定：第一種住居地域 第二種住居地域

その他の指定：準防火地域

構造・規模：RC造（南舎）

敷地面積：○○m²

建築面積：○○m²
○○m²（南舎）※対象範囲

延べ床面積：○○m²
○○m²（南舎）※対象範囲

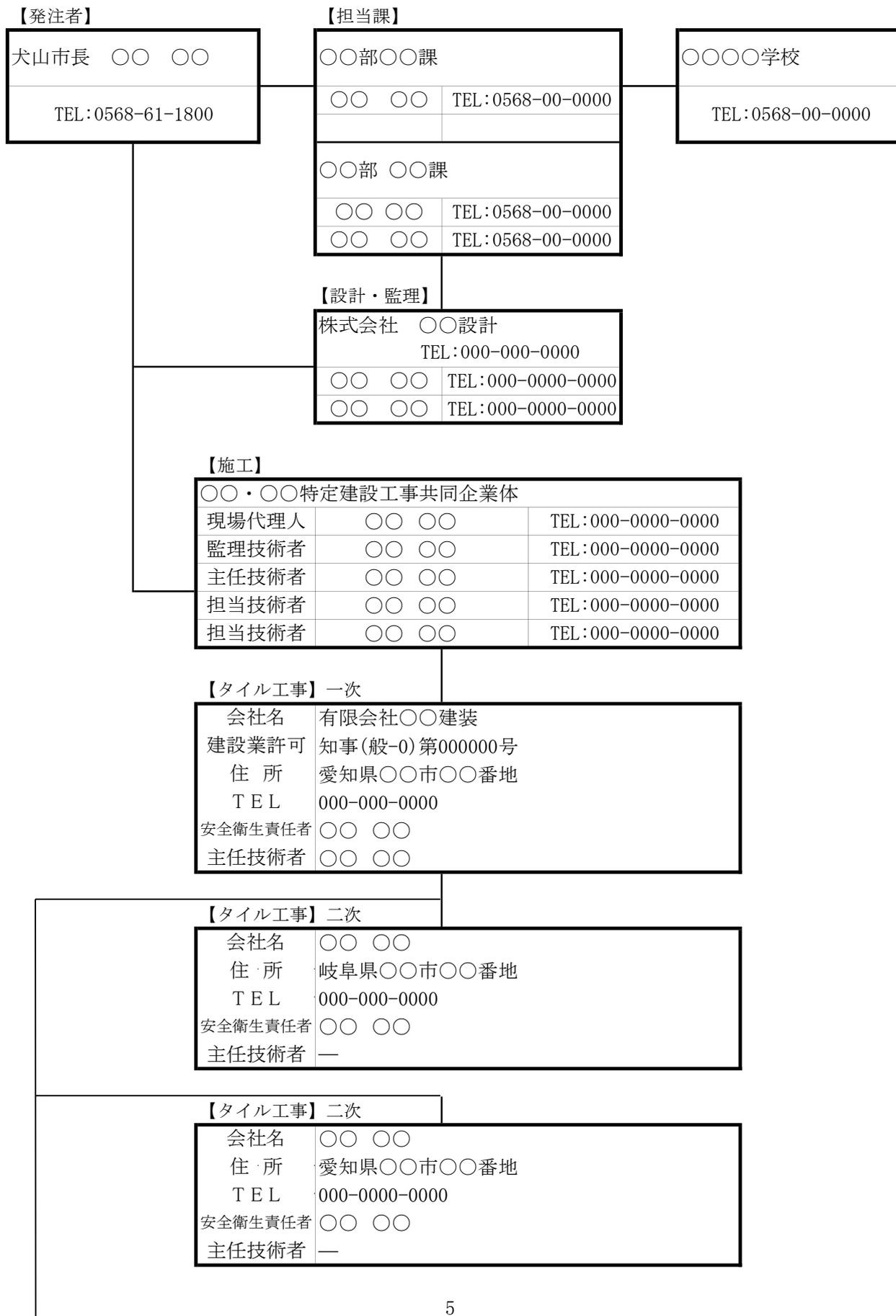
工事範囲： I 建築工事
I-1 校舎棟改修 内装改修
I-2 外構 外構改修

に適用

2-1 タイル工事概要書

施工場所	摘要	備考
校舎棟改修 玄関 床	磁器質タイル 300角	目地共寸法 ≒300×300×13
校舎棟改修 男子トイレ床	汚垂石 600×800角	目地共寸法 ≒600×900×6
外構改修 タイル舗装 他	磁器質タイル 300角 誘導表示タイル 300角	目地共寸法 ≒300×300×13
外構改修 タイル舗装 (スロープ)	磁器質タイル 150角	目地共寸法 ≒150×150×11
外構改修 門壁	モザイクタイル 50角	目地共寸法 ≒300×300×7
外構改修 手洗い場	モザイクタイル 25角	目地共寸法 ≒300×300×6

3. 現場の組織



【タイル工事】 二次	
会社名	〇〇 〇〇
住 所	愛知県〇〇市〇〇番地
T E L	000-0000-0000
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	—

【タイル工事】 二次	
会社名	〇〇 〇〇
住 所	愛知県〇〇市〇〇番地
T E L	000-0000-0000
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	—

【タイル工事】 二次	
会社名	〇〇 〇〇
住 所	愛知県〇〇市〇〇番地
T E L	000-0000-0000
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	—

【タイル工事】 二次	
会社名	〇〇 〇〇
住 所	愛知県〇〇市〇〇番地
T E L	000-0000-0000
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	—

【タイル工事】 二次	
会社名	〇〇 〇〇
住 所	愛知県〇〇市〇〇番地
T E L	000-0000-0000
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	—

【タイル工事】 二次	
会社名	〇〇 〇〇
住 所	愛知県〇〇市〇〇番地
T E L	000-0000-0000
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	—

4. 工程表

工程表は次項による。

5. 品質方針・施工方針

5-1 基本要品質

- 1) 指定された材料が正しく使用されていること。
- 2) 仕上り面は、品質計画通りであること。

5-2 作業所基本方針

- A) 定められた出来形の確保
- B) 無事故・無災害の達成

5-3 管理重点項目

	管理重点項目	担当	内容
1	使用材料の管理	〇〇	<ul style="list-style-type: none"> ・JIS規格の確認 ・指定寸法に対する許容寸法(±2mm)の確認 ・受入れ検査の実施
2	品質の管理	〇〇	<ul style="list-style-type: none"> ・1級技能士による施工 ・仕上げ墨の立会確認 ・施工後の自主検査の実施

	管理重点項目	担当	内容
A	定められた出来形の確保	〇〇	<ul style="list-style-type: none"> ・割付け図との整合性 ・打診検査の実施 ・適切な養生の実施
B	全工期無災害の達成	〇〇	<ul style="list-style-type: none"> 脚立の適正使用 有資格者による作業の実施 電動工具の使用前点検の実施

6. 使用材料

6-1 タイル材

部位	工法	種別	寸法	製造所
校舎棟改修 玄関 床	圧着張り	陶磁器	294×294×13	〇〇〇(株)
校舎棟改修 男子トイレ 汚垂	接着張り	ハイドロ セラ陶板	597×897×6	〇〇〇(株)
外構改修 タイル舗装	圧着張り	陶磁器	294×294×13	〇〇〇(株)
外構改修 タイル舗装(スロープ)	圧着張り	陶磁器	144×144×11	〇〇〇(株)
外構改修 門壁	圧着・接着張り	陶磁器	45×45×7	(有)〇〇
外構改修 足洗い場	圧着・接着張り	陶磁器	24.5×24.5×6	(株)〇〇

6-2 副資材

資材名	製造所
NS ポリマーミックス # 30(下地調整材)	〇〇〇(株)
NS ハイフレックスHF-1000(吸水調整材)	〇〇〇(株)
NS ダブルワンP-1・P-2 (タイル張付用モルタル)	〇〇〇(株)
NS タイルセメント(タイル張付用モルタル)	〇〇〇(株)
弾性ボンド フレックスマルチ(タイル張付用接着剤)	〇〇〇(株)
NS メヂセメント(床用目地材・外装目地材)	〇〇〇(株)

※下地処理、張付け時、目地込み時に使用

7. 施工管理

タイル接着剤張り工法

- (1) 下地の確認
 - ・下地が乾燥している状態であるか、ほこりや汚れまたは突起物がない事を目視または触診により確認を行う。
- (2) タイルの割付
 - ・実測により仕上げ墨出しを行い、各部位との取合いを確認後、割付け寸法を算出し目地割りを行う。
- (3) 基準タイル張り
 - ・直角の基準を取る為、目地割りに応じて、縦横共に3m～4m間隔に基準タイル張りを行う。
- (4) 接着剤の塗布
 - ・下地面に接着剤を2mm～3mm平坦に塗り付けたのち、3mmくし目ゴテを用いて均一な高さにする。
 - ・接着剤塗布面が目地の仕上りとなる為、表面にムラがないか確認を行う。
 - ・1回当たりに塗り付ける面積は30分以内に
「接着剤塗り付けからタイル張り付け」まで終わることができる面積とする。
 - ・接着剤が他部材に付着したまま放置すると硬化した後は除去できない為、額縁、面台等の他部材を汚さないように事前に養生を行う。
- (5) タイル張り
 - ・ユニットタイルを先に設けた基準タイルを定規に墨を合わせ上から下に張り付ける。
 - ・接着剤塗布後は直ちにユニットタイルを接着剤に押し当て、裏面に空隙を残さないように叩き板を用いて中央および四隅を均一に叩き込む。
 - ・張付け後、接着剤が硬化する前にタイル目地幅をそろえて、縦・横の配列を直す。
- (6) 目地詰め
 - ・ユニットタイル張付け後、24時間以上経過したのち目地詰めを行う。
 - ・目地材の調合は下記による。攪拌は機械(パワーミックス)にて全体が均一になるまで練り混ぜる。

目地材	水
4kg	≒1ℓ

 - ・目地詰めは、目地材をユニットタイル表面にゴム鏝にて塗り付け、目地部に十分に充填する。ある程度硬化した後、スポンジ等で表面を清掃して仕上げる。

タイル圧着張り工法

(1) 下地の確認

- ・コンクリート面の汚れ、砂粒などを金属ブラシ、金鏝等で除去する。また、下地面の乾燥状態に応じて適度に水湿しを行う。
- ・下地の給水が著しい場合は、給水調整材(NSハイフレックスHF-1000)の5倍希釈液を下地に均一に塗布する。

(2) タイルの割付

- ・基準墨からタイル割付用の墨出を行う。また、コンクリート取合いや水勾配を確認し、タイル仕上げ面を基準に水糸張りを行う。

(3) 張付けモルタルの混練

- ・張付けモルタルの調合は下記による。攪拌は機械(パワーミックス)にて全体が均一になるまで練り混ぜる。

張付けモルタル	水
25kg	≒4.5ℓ

- ・加水後は60分以内(冬季)で使いきる事とする。

(4) 基準タイル張り

- ・直角の基準を取る為、目地割りに応じて、縦横共に3m～4m間隔に基準タイル張りを行う。

(5) タイル張り

- ・下地面に塗る張付けモルタルは、2㎡以内程度とし必ず2度塗りとする。1度目は下地モルタルになじむように、コテ圧を十分に掛けてしごき塗りし、2度目で塗り厚を調整して全体が5mm～8mmになるように平坦に均す。
塗り置き時間は30分以内とする。
- ・基準タイル間に水糸を張り、張付けモルタルを塗付け、オープンタイムに留意しつつハンマーの柄やたたき板を用いて、たたき押さえを行いながら張り進める。
- ・目地より盛り上がった張付けモルタルや、伸縮目地等の必要ない部分は硬化を見計らい除去する。

(6) 目地詰め

- ・ユニットタイル張付け後、24時間以上経過し張付けモルタルの硬化を確認後行う。
- ・目地材の調合は下記による。攪拌は機械(パワーミックス)にて全体が均一になるまで練り混ぜる。

目地材	水
25kg	≒5ℓ

- ・目地詰めは、目地材をタイル表面にゴム鏝にて塗付け、目地部に十分に充填する。目地材がある程度硬化した後、スポンジ等でタイル表面を清掃して仕上げる。

8. 自主検査

8-1 検査一覧

- ・ 検査の種別、時期、内容、方法、検査者を下記に記す。

種別	時期	内容	方法	管理値	検査者	記録
受入 検査時	現場搬入時	製造所	規格証明書	設計図書 施工計画書に合致	タイル施工業者 担当技術者	チェックシート 写真
		規格				
		種類	目視			
		色調	目視 寸法計測			
		形状・寸法				
		浦足高さ				
施工時 品質	施工時	下地精度状態	目視 寸法計測	設計図書 施工計画書に合致	タイル施工業者 監理技術者	チェックシート 写真
		面・通り精度	目視			
		ひび割れ				
		色調				
		傷				
		張付けモルタル				
		目地材の仕様				
		目地材の充填				
完了 時 品質	完了時	出来栄え	目視 打診	設計図書 施工計画書に合致	タイル施工業者 監理技術者	チェックシート 写真
		浮き				
		清掃				

11・タイル工事		標準QC工程図	凡例	重点検査項目 ○	確認項目 レ	不要項目 /					
タイル工事		重点 調査	管理項目	管理水準	管理又は検査方法			管理資料	確認	異常時の 処置	備考
単位工程	作業単位				時期	測定・検査方法	頻度				
準備	施工図の作成		伸縮目地の位置、区画 ・水平方向 ・垂直方向	コンクリート打継部 幅10mm	工事 着手前	照合	各図毎	設計図書 仕様書			監理者との 協議
				誘発目地と同位置 幅10mm	工事 着手前	照合	各図毎	設計図書 仕様書			監理者との 協議
コンクリート 下地の検査	下地の状態		ひびわれ、豆板、浮き	下地表層の強度不足による表層 破壊なし(硬化不足、レイトス)	本工事 30日前	目視	全壁面				
下地モルタル 塗り	下地モルタル検査		下地モルタルの浮き	浮きなし	タイル 張り前	テストハンマー-木づち の打撃者	1ヶ所 /1㎡				ハツリ後 モルタル塗り直し
タイル張り	タイル張り		タイル張り仕上がり	凹凸:3mm以内 タイル相互段差:2mm以内	7日 経過後	目視	1ヶ所 /1㎡				張替
			叩き検査	浮いた音なし	7日 経過後	テストハンマー	1ヶ所 /1㎡	チェックシート			再施工 5℃以下の とき延長

9. 安全衛生環境管理

9-1 現場の管理体制

- 1) 現場代理人は、タイル工事に当たり、現場組織体制を定め、監理者の承諾を受ける。
- 2) 現場代理人は、工事関係者と協力し、タイル工事全体の円滑な進捗を図る。
- 3) タイル工事に先立ち、当該工事に係る立地条件等を十分把握した上で、工事の内容に応じた適切な人材(主任技術者)を配置し、指揮命令系統の明確な現場組織体制を組むとともに、工事関係者に工事の内容や使用機器材の特徴等を周知させる。

9-2 安全衛生環境対策

- 1) 工事車両は県道27号線より原則左折、進退入とする。
- 2) 車両通行禁止時間 AM8時～AM8時30分の朝の通勤・通学時間帯。
- 3) 近隣影響を考慮して、作業時間は、午前8:30～午後5:00までを原則とする。
- 4) 日曜日を原則休みとする。(可能な限り週休2日の確保に努める)
- 5) 作業開始前にリスクアセスメント作業手順KYを行い、作業場所、作業順序、作業時間作業通路、注意事項等リスク評価し、その内容を作業員に周知・徹底・確認をする。
- 6) 作業をするにあたり、労働安全衛生法に基づいて資格が必要な作業は必ず有資格作業とする。資格の確認は、新規受け入れ教育時に、資格者証の確認を行う。
資格確認は、新規入場教育時並びに、朝礼時に資格者証(本証)の携帯確認を行う。
- 7) 作業員は、作業に見合った保護具(保護帽・墜落制止用器具・安全靴等)を完全装着する。
- 8) 火気作業時は、周囲の可燃物の有無を確認し、可燃物がある場合は撤去後に作業を行う。
- 9) 切断加工作業の際には集塵機を使用し、必要によって保護マスクの着用をする。
- 10) 2m以上の高所作業となる場合は、墜落制止用器具を使用する。

- 11) 作業場所では換気を確実にを行い、必要によって防塵マスク等を装着使用する。
- 12) 作業足場は、移動式ローリング足場及びアルミ製の簡易作業台を使用し、脚立の単独使用は禁止とする。
- 13) 仮設足場を作業の都合で取りはずす場合は、担当技術者に報告の上行う。
また、作業終了時には速やかに復旧する。
- 14) 車両運転手は敷地出入口では必ず一旦停止をし、安全確認を行うとともに交通誘導員の指示に従うこと。
- 15) 電動工具類は持込み前に点検を行い、持込み時に使用許可証を貼り使用する。
使用時は、必ず使用前点検を行い、感電事故、漏電事故防止に努めることとする。
使用工具類は二重絶縁もしくは、アース付き工具とする。
- 16) 電動工具のコードの先及び延長コード類には、持込み業者名及び行き先を表示を取付ける。
- 17) 車両運転手はヤード出入口では必ず一旦停止をし、安全確認を行うとともに交通誘導員の指示に従うこと。
- 18) 学校、近隣に対し迷惑が掛からぬよう、不用意な騒音・振動の発生を控える。
- 19) 工事現場における資材等で、飛散の恐れのあるものはネットをかけ、飛散しないように養生を行う。
- 20) 作業終了時には、片付け・清掃を確実にを行い、学校、近隣周辺に異状が無いか確認を行う。

10. 添付資料

10-1 建設業許可証(写)

10-2 一級技能検定合格証(写)

10-3 タイル材他資料カタログ